MITSUBISHI ELECTRIC

三菱電機 ビル空調 マルチエアコン 室内ユニット

形名

PLFY-P22,28,36,45,56,71,80,90,112,140LMG9
PDFY-P22,28,36,45,56,71,80,90,112,140GMG9
PEFY-P45,56,71,80,90,112,140,160,224,280MG9
PEFY-P45,56,71,80,90,112,140,160MG9-J
PEFY-P90,112,140,160,224,280MG9-F
PEFY-P224,280SMG9
PFFY-P28,36,45,56,71LEMG9
PFFY-P28,36,45,56,71LRMG9
PFFY-P112,140,224,280RMG9
PFFY-P280RMG9-F
PFFY-P224,280,450,560DMG9

取扱説明書

もくじ ページ

安全のために必ず守ること …… 4
1. 各部の名称 …… 8
2. 別売部品 …… 16
3. ご使用の前に …… 16
4. 使用方法 …… 19
5. お手入れ …… 39
6. 定期点検のお願い …… 43
7. 製品独自のお願い事項 …… 45
8. 据付工事の確認と試運転 …… 46
9. 仕様 …… 47
10. 修理を依頼する前に …… 52
11. 法令関連の表示 …… 54
12. 保証とアフターサービス …… 57
13. 環境関連の表示 …… 58

- このたびは三菱電機製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 保証書は室外ユニットに添付しています。室外ユニットの保証書でセットでお買上げになった室内ユニット・室外ユニット・リモコンを保証します。
- 保証書は「お買上げ日（据付日または試運転完了日）・販売店名（工事店名）」などの記入を確かめて、販売店（工事店）からお受け取りください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は大切に保管してください。
- 添付別紙の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」は大切に保管してください。
- お使いになる方が代わる場合には、本書と「据付工事説明書」および「保証書」をお渡しください。
- お客様ご自身では据付けないでください。（安全や機能の確保ができません。）
- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
  This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

WT09959X01

もくじ

ページ

安全のために必ず守ること ····· 4
1. 各部の名称 ····· 8
1-1. 各部のなまえとはたらき ····· 8
1-1-1. 室内ユニット ····· 8
1-1-2. 室外ユニット ····· 10
1-1-3. リモコン（別売品） ····· 11
2. 別売部品 ····· 16
3. ご使用の前に ····· 16
3-1. 使用上のお願い ····· 16
3-2. 各種運転について ····· 17
4. 使用方法 ····· 19
4-1. 運転方法 ····· 19
4-1-1. 運転／停止と運転モード、室温調節 ··· 19
4-1-2. 風速・風向調節と換気運転 ····· 21
4-1-3. 自動運転、換気運転のしかた ····· 27
4-1-4. その他の表示・点滅について ····· 29
4-1-5. タイマー、スケジュール、省エネ運転のしかた（MAスマートリモコンの場合） ····· 30
4-1-6. タイマー運転のしかた（ワイヤレスリモコンの場合） ····· 31
4-1-7. 人感ムーブアイ設定のしかた（PLFY-P22～140LMG形の場合） ····· 33
4-2. その他の操作について ····· 38
4-2-1. 長期間使用しないとき ····· 38
5. お手入れ ····· 39
6. 定期点検のお願い ····· 43
7. 製品独自のお願い事項 ····· 45
7-1. 廃棄について ····· 45
7-2. 移設時の据付場所について ····· 45
8. 据付工事の確認と試運転 ····· 46
9. 仕様 ····· 47
10. 修理を依頼する前に ····· 52
11. 法令関連の表示 ····· 54
11-1. 標準的な使用条件 ····· 54
11-2. 機器予防保全の目安 ····· 55
11-3. 消耗部品の点検周期目安 ····· 56
12. 保証とアフターサービス ····· 57
13. 環境関連の表示 ····· 58

WT09959X01

安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り扱ってください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

⚠ 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うおそれのあるもの
⚠ 注意	取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う、または物的損害が発生するおそれのあるもの

- 図記号の意味は次のとおりです。

- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

一般事項

⚠ 警告

当社指定の冷媒以外は絶対に封入しないこと。

- 使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災のおそれあり。
- 法令違反のおそれあり。

封入冷媒の種類は、機器付属の説明書・銘板に記載し指定しています。
指定冷媒以外を封入した場合の不具合・事故に関して当社は一切責任を負いません。

禁止

吹出し風を身体に直接当てないこと。

- 体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。

禁止

冷やし過ぎないこと。

- 体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。

禁止

以下の特殊な環境では使用しないこと。

- **油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところ**
- **酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ**

- 性能低下・腐食による冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・故障・発煙・火災のおそれあり。

使用禁止

吹き出しの風が直接あたる所に燃焼器具を置かないこと。

- 燃焼器具が不完全燃焼を起こし、酸素欠乏・一酸化炭素中毒のおそれあり。

禁止

改造はしないこと。

- 冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。

禁止

安全装置・保護装置の改造や設定変更をしないこと。

- 保護装置を改造して運転を行った場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- 設定値を変更して使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- 当社指定品以外のものを使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。

変更禁止

ユニットの据付・点検・修理をする周囲に子どもを近づけないこと。
- 工具などが落下すると、けがのおそれあり。

禁止

ユニットの近くに可燃物を置いたり、可燃性スプレーを使用したりしないこと。
- 引火・火災・爆発のおそれあり。

禁止

殺虫剤・可燃性スプレーなどを製品の近くに置いたり、直接吹付けないこと。
- 変形・引火・火災・爆発のおそれあり。

禁止

粉塵が浮遊している場合は、ユニットを使用しないこと。
- 吸い込みによる故障・発煙のおそれあり。
- 健康障害のおそれあり。

禁止

ヒューズ交換時は、針金・銅線を使用しないこと。指定容量のヒューズを使用すること。
- 発火・火災のおそれあり。

禁止

お手入れのときは不安定な台に乗らないこと。
- 落下・転倒し、けがのおそれあり。

禁止

運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れないこと。
- 冷媒は循環過程で低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。

接触禁止

運転中および運転停止直後の電気部品に素手で触れないこと。
- 火傷・感電のおそれあり。

接触禁止

ユニットを水・液体で洗わないこと。
- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

水ぬれ禁止

電気部品に水・液体・洗浄スプレー液をかけないこと。
- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

水ぬれ禁止

水の入った容器を製品などの上に載せないこと。
- 水がこぼれた場合、ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

水ぬれ禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。
- 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

ぬれ手禁止

フィルター清浄・交換など、高所では足を踏み外さないように作業すること。
- 落下・転倒し、けがのおそれあり。

指示を実行

掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。
- けが・感電のおそれあり。
- 回転機器により、けがのおそれあり。

指示を実行

薬品を散布する前に運転を停止し、ユニットにカバーを掛けること。
- 薬品がユニットにかかると、運転時にけがのおそれあり。
- 薬品がユニットにかかって損傷すると、けが・感電のおそれあり。

指示を実行

換気をよくすること。
- 冷媒が漏れた場合、酸素欠乏のおそれあり。
- 冷媒が火気に触れた場合、有毒ガス発生のおそれあり。
- 燃焼器具を使用した場合、不完全燃焼により、酸素欠乏・一酸化炭素中毒のおそれあり。

換気を実行

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切ること。
- お買い上げの販売店・お客様相談窓口に連絡すること。
- 異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。

指示を実行

端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取り付けること。
- ほこり・水による感電・発煙・発火・火災のおそれあり。

指示を実行

基礎・据付台が傷んでいないか定期的に点検すること。

- ユニットの転倒・落下によるけがのおそれあり。

ユニットの廃棄は、専門業者に依頼すること。

- 充てんした油や冷媒を取り除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発のおそれあり。

⚠注意

フィルターの清掃・交換などの作業時はユニットの真下にいないこと。

- フィルターの自重降下、落下によるけがのおそれあり。

ユニットの上に乗ったり物を載せたりしないこと。

- ユニットの転倒や載せたものの落下によるけがのおそれあり。

空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れないこと。

- ファンによるけがのおそれあり。

先のとがった物で表示部・スイッチ・ボタンを押さないこと。

- 感電・故障のおそれあり。

パネルやガードを外したまま運転しないこと。

- 回転機器に触れると、巻込まれてけがのおそれあり。
- 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- 高温部に触れると、火傷のおそれあり。

食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しないこと。

- 保存品が品質低下するおそれあり。

ユニットの下に食品を置かないこと。

- ほこり・異物の落下により品質低下するおそれあり。

吹き出しの風が直接あたる所に動植物を置かないこと。

- 悪影響のおそれあり。

運転停止後、すぐにユニットの電源を切らないこと。

- 運転停止から 5 分以上待つこと。
- ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。

ぬれて困るものを下に置かないこと。

- ユニットからの露落ちにより、ぬれるおそれあり。

部品端面・ファンや熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

- けがのおそれあり。

フィルターを取り外す場合、保護具を身につけること。

- ほこりが目に入り、けがのおそれあり。

保護具を身に付けて操作すること。

- 主電源を切っても数分間は充電された電気が残っている。触れると感電のおそれあり。

電気部品を触る場合は、保護具を身に付けること。

- 高温部に触れると、火傷のおそれあり。
- 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。

作業する場合は保護具を身に付けること。

- けがのおそれあり。

フィルターの点検・清掃は専門業者がすること。

- けがのおそれあり。

ユニットの据付・点検・修理をする前に周囲の安全を確認すること。

- パネルが落下すると、けがのおそれあり。

ユニット内の冷媒は回収すること。

- 冷媒は再利用するか、処理業者に依頼して廃棄すること。
- 大気に放出すると、環境破壊のおそれあり。

薬品消毒実施後は、薬品のガスを換気により排出すること。その後ユニットを運転すること。

- ユニットに付着した薬品が飛散し、薬品を浴びると、けがのおそれあり。
- ユニットが吸い込むと腐食・変形による故障のおそれあり。

販売店または専門業者が定期的に点検すること。

- ユニットの内部にゴミ・ほこりがたまった場合、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。
- においが発生するおそれあり。

移設・修理をするときに

⚠ 警告

改造はしないこと。ユニットの移設・分解・修理は販売店または専門業者に依頼すること。

- 冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。

分解・修理をした場合、部品を元通り取り付けること。

- 不備がある場合、けが・感電・火災のおそれあり。

基板に手・工具で触れたり、ほこりを付着させたりしないこと。

- ショート・感電・故障・火災のおそれあり。

⚠ 注意

点検・修理時は、配管支持部材・断熱材を確認し劣化したものは補修、交換すること。

- 冷媒漏れ・水漏れのおそれあり。

1. 各部の名称

1-1. 各部のなまえとはたらき

1-1-1. 室内ユニット

ユニットの形態により、装備している機能が異なります。

	PLFY-P22～140LMG形	PDFY-P22～140GMG形	PEFY-P45～160MG形(-F形以外)	PEFY-P224, 280MG形 PEFY-P90～160MG形(-F形のみ)
風速	4速	3速	2速	1速
風速自動	○	○	○	−
上下風向調整	電動 (5段階 ※1)	−	−	−
左右風向調整	−	−	−	−
ロングライフフィルタ	○	○	別売	別売
フィルタクリーニング サイン積算時間	2500時間	2500時間	2500時間	2500時間

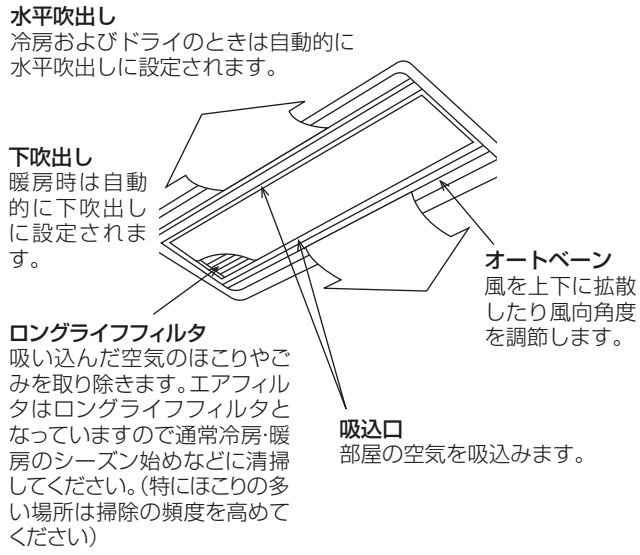
※1 リモコンにより操作できる機能が異なります。(「4-1-2. [2] 上下風向を変えたいとき」(22ページ) を参照してください。)

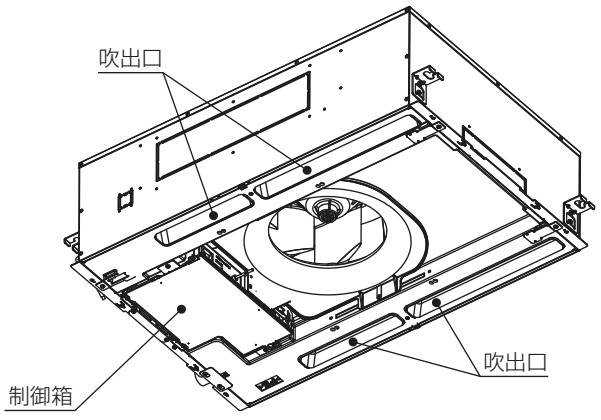
	PEFY-P224, 280SMG形	PFFY-P28～71LEMG形 PFFY-P28～71LRMG形	PFFY-P112～280RMG形	PFFY-P224～560DMG形
風速	3速	2速	1速	1速
風速自動	○	−	−	−
上下風向調整	−	−	−	手動別売プレナム取付時
左右風向調整	−	−	−	手動別売プレナム取付時
ロングライフフィルタ	別売	−	○	○
フィルタクリーニング サイン積算時間	2500時間	100時間	2500時間	1250時間

※ 形名末尾に「-F」がつく機種の運転モードは「冷房・送風・暖房」です。
また室外ユニットの機種により、暖房機能がない場合があります。

■ PLFY-P22～140LMG形

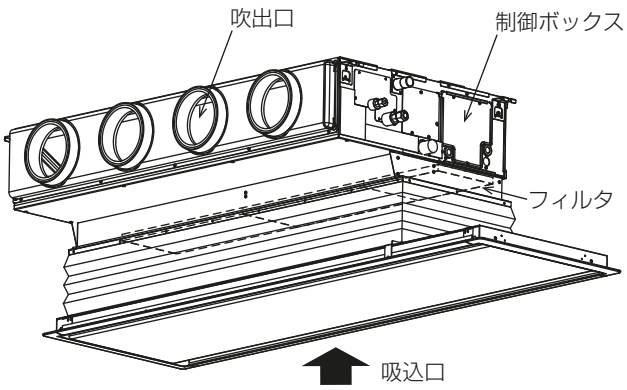
2方向天井カセット形





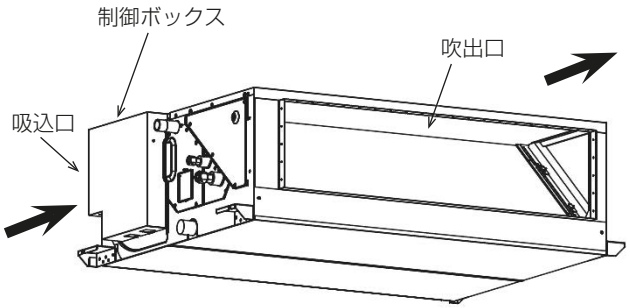
■ PDFY-P22～140GMG形

天井ビルトイン形



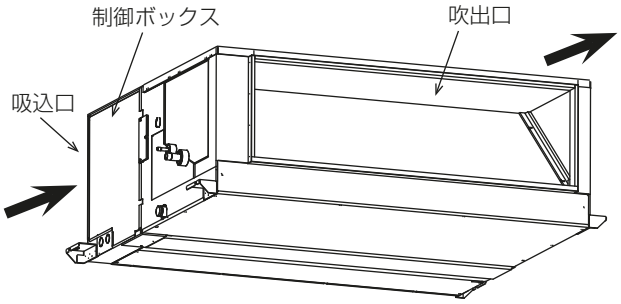
■ PEFY-P45～280MG形

天井埋込形



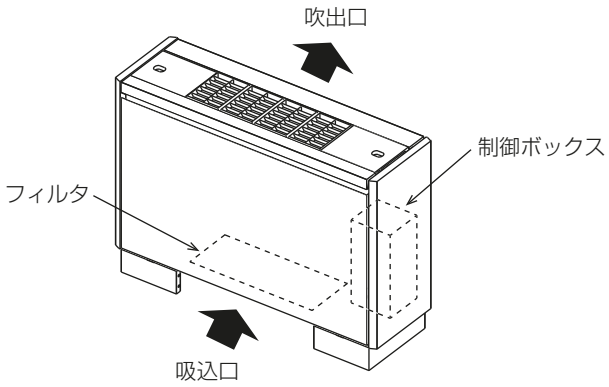
■ PEFY-P224,280SMG形

天井埋込形



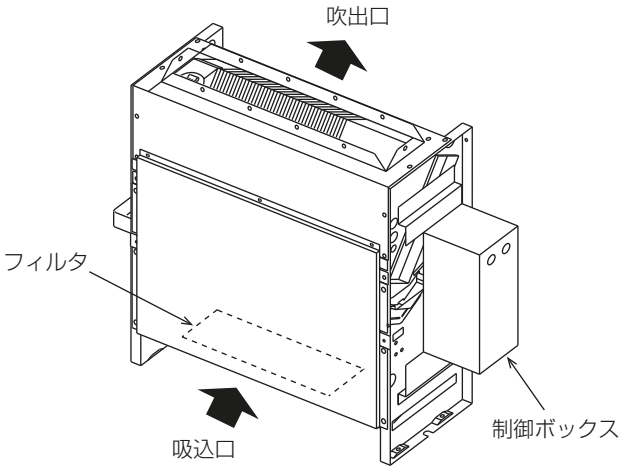
■ PFFY-P28～71LEMG形

床置形ローボーイタイプ



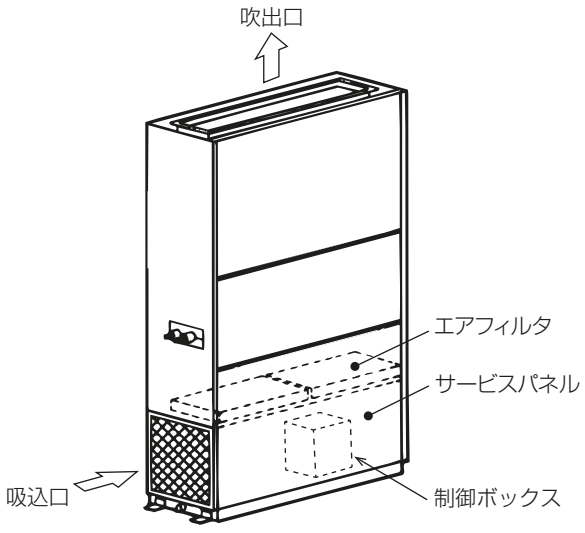
■ PFFY-P28～71LRMG形

床置埋込形ローボーイタイプ



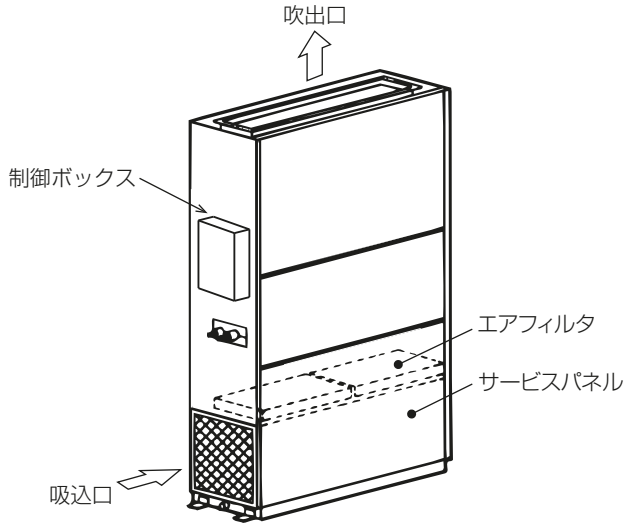
■ PFFY-P112～280RMG形

壁ビルトイン形



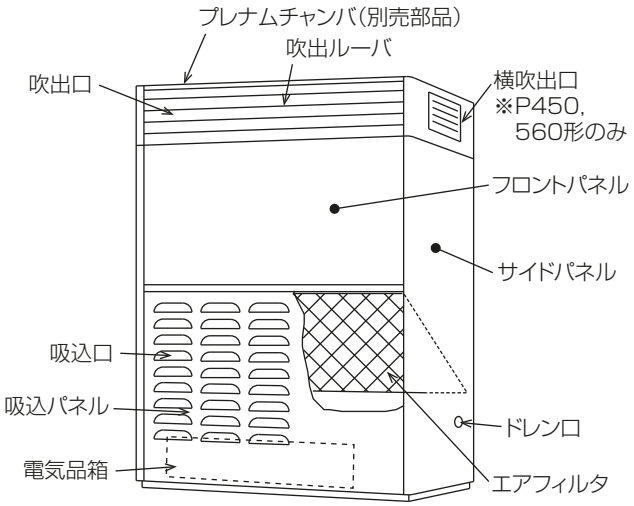
■ PFFY-P280RMG-F形

壁ビルトイン形



■ PFFY-P224～560DMG形

床置形



⚠注意

ユニットの据付・点検・修理をする前に周囲の安全を確認すること。

- パネルが落下すると、けがのおそれあり。

指示を実行

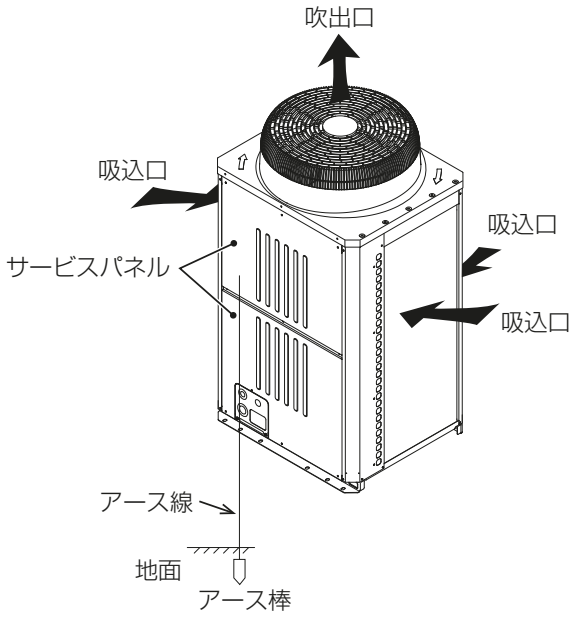
お願い

- 据付・点検・修理をする場合、適切な工具を使用してください。
  工具が適切でない場合、ユニット損傷のおそれがあります。

1-1-2. 室外ユニット

形名、馬力により仕様が異なりますので、詳細は室外ユニットに同梱の据付工事説明書を参照してください。

PUHYシリーズ他



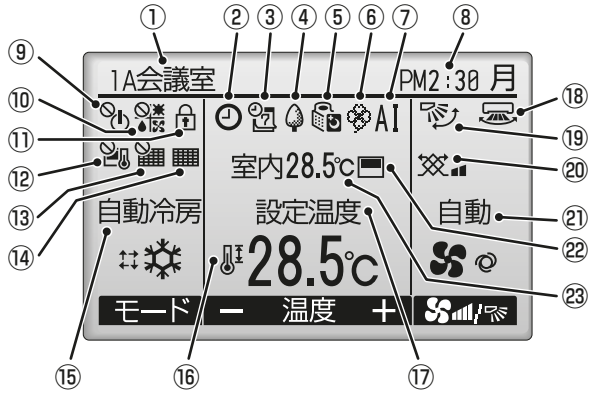
1-1-3. リモコン(別売品)

[1] MA スマートリモコン

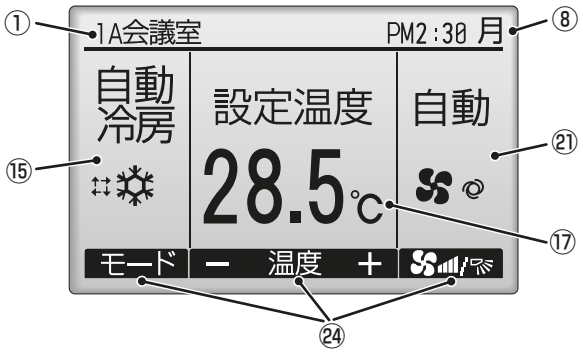
メイン画面の表示には「詳細画面」と「簡易画面」の２種類があります。初期設定は詳細画面表示となっています。本機種ではハイパワー運転、室外サイレントモード設定、省エネ運転スケジュール、CO_2排出量表示は使用できません。(説明のためすべての表示内容を示しています。)

(1) 表示部

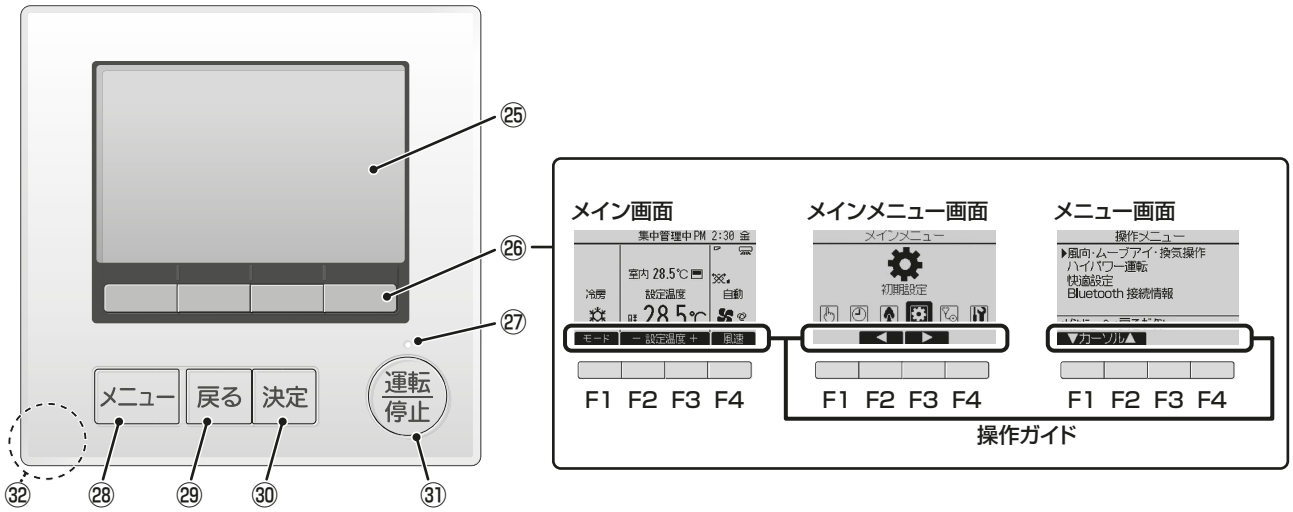
詳細画面(メイン画面)



簡易画面(メイン画面)



(2) 操作部



番号	表示/名称	説明
①	リモコン名	リモコンの名前を表示します。
②		オン／オフタイマー又は消忘れ防止タイマー設定が有効のときに表示します。
③		週間スケジュールタイマー設定が有効のときに表示します。
④		省エネ制御中に表示します。
⑤		室外サイレントモード制御中に表示します。
⑥		パワーシェア運転有効中に表示します。
⑦	AI	ムーブアイ mirA.I. 有効中に表示します。
		ムーブアイ省エネ運転中に表示します。
⑧	時刻	現在の時刻を表示します。
⑨		発停操作が集中管理中のときに表示します。

番号	表示 / 名称	説明
⑩		運転モード操作が集中管理中のときに表示します。
⑪		操作ロック設定が有効のときに表示します。
⑫		設定温度操作が集中管理中のときに表示します。
⑬		フィルターサインのリセット操作が集中管理中のときに表示します。
⑭		フィルターのお手入れ時期になると表示します。
⑮	運転モード	運転中の状態を表示します。
⑯		設定温度範囲制限設定が有効のときに表示します。
⑰	設定温度	設定温度を表示します。
⑱		設定したルーバーの状態を表示します。
⑲		設定した風向の状態を表示します。
⑳		設定した換気の状態を表示します。
㉑	風速	設定した風速の状態を表示します。
㉒		室内温度を検知するセンサ位置がリモコンのときに表示します。室内ユニットのときは を表示します。
㉓	室内温度	現在の室内温度を設定します。
㉔	ファンクション ボタン操作ガイド	ファンクションボタンの機能名を表示します。
㉕	液晶表示部 （バックライト付）	運転内容を表示します。 バックライト消灯中にボタン操作すると、バックライトが点灯します。 一定時間ボタン操作が行われないと自動的に消灯します。 バックライトの点灯時間は画面により異なります。
㉖	ファンクション ボタン	ファンクションボタンは操作する画面によって動作が変わります。 液晶表示下部の操作ガイドにしたがって操作してください。
	F1 ボタン	メイン画面：運転モードを切り替えます。 メニュー画面：操作する画面によって動作が変わります。
	F2 ボタン	メイン画面：設定温度を下げます。 メインメニュー画面：カーソルが左に移動します。 メニュー画面：操作する画面によって動作が変わります。
	F3 ボタン	メイン画面：設定温度を上げます。 メインメニュー画面：カーソルが右に移動します。 メニュー画面：操作する画面によって動作が変わります。
	F4 ボタン	メイン画面：風速を切り替えます。 メニュー画面：操作する画面によって動作が変わります。
㉗	運転ランプ	運転中、緑色に点灯します。立上げ時、異常時は点滅します。
㉘	メニューボタン	メインメニューを表示します。
㉙	戻るボタン	前の画面に戻ります。
㉚	決定ボタン	設定の決定をします。
㉛	運転／停止ボタン	1 度押すと運転し、もう一度押すと停止します。
㉜		室温センサ内蔵位置

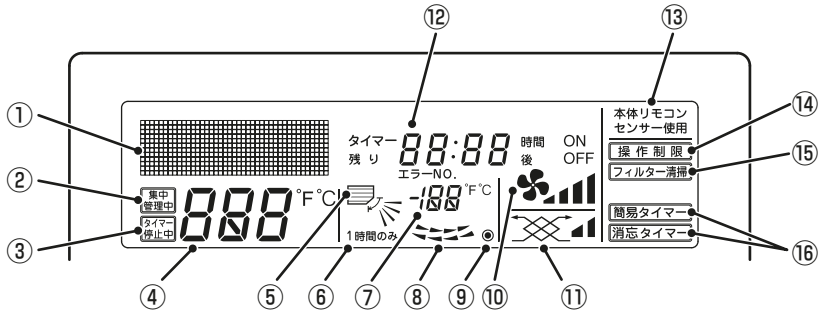
お知らせ

- バックライトが消えている状態での最初のボタン操作は効きません。バックライトのみ点灯します。（運転／停止ボタンは除く）
- 基本運転（運転／停止、運転モード切替、風量調節、温度設定）以外はメニュー画面からの設定となります。
- 使用する場合は、リモコンに同梱されている取扱説明書を参照してください。

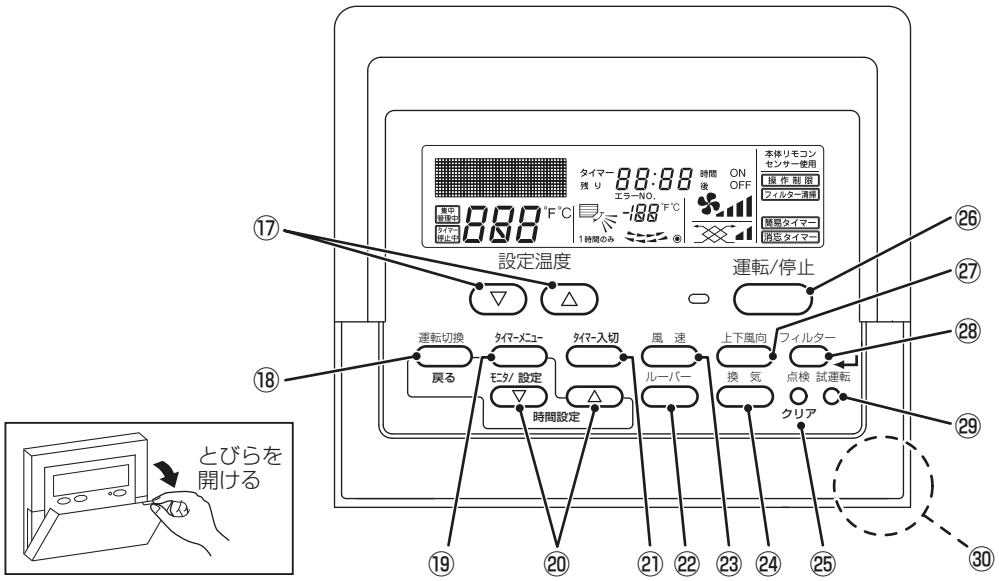
[2] MA スムースリモコン

（説明のためすべての表示内容を示しています。）

(1) 表示部



(2) 操作部



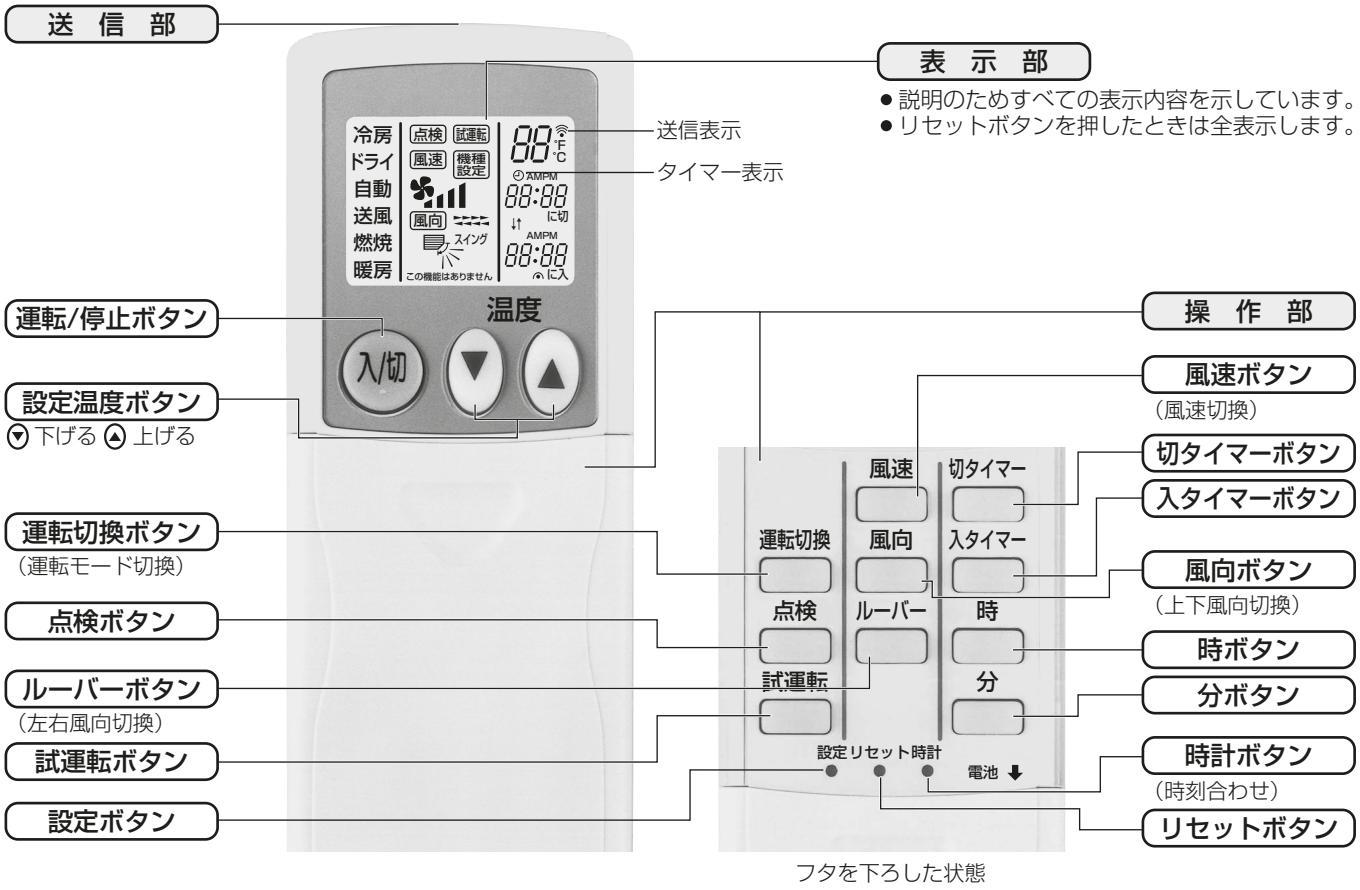
番号	表示 / 名称	説明
①	操作内容表示	運転モードなどを表示します。 ※他言語対応 室内ユニットにない機能のボタンを押したときに、該当する機能表示と同時に“無効ボタン”を３秒間点灯表示します。
②	集中 管理中	集中コントローラなどで操作禁止されている場合に表示します。 制限される操作は以下のとおりです。（個々に制限される場合もあります） 運転 / 停止・運転モード・設定温度 ※氷蓄熱機種では、夜間蓄冷熱運転をしている場合にも表示します。
③	タイマー 停止中	タイマーの運転状態を表示します。
④	設定温度	選択された設定温度を表示します。
⑤	上下風向	吹出しの風向を＼印で表示します。
⑥	**1時間のみ**	冷房およびドライ運転で弱風下向きに設定したとき表示します。 （機種により異なります） １時間経過しますと表示は消え、風向も切り替わります。

番号	表示/名称	説明
⑦	室温	運転中の吸込/室内温度を表示します。 表示範囲は8～39℃で、これを超える場合は、8℃または39℃で点滅します。
⑧	ルーバー	スイングルーバーの作動を表示します。停止の場合は表示しません。
⑨	◉	通電時、表示されます。
⑩	風速	選択された風速を表示します。
⑪	換気	換気運転時表示します。
⑫	タイマー実行時間	簡易タイマー、消忘タイマー運転時は、タイマー実行時間を表示します。
⑬	**センサー使用**	リモコンと室内ユニット、どちらかのセンサを使用しているかを表示します。
⑭	操 作 制 限	操作制限をしている場合、点灯表示します。
⑮	フィルター清掃	フィルターの清掃時期がくると表示します。
⑯	簡易タイマー 消忘タイマー	タイマーが設定されている場合、その機能を表示します。
⑰	設定温度ボタン	(▽) 下げる　(△) 上げる
⑱	運転切換(戻る)ボタン	
⑲	タイマーメニュー (モニタ／設定)ボタン	
⑳	時間設定ボタン	(▽) 戻す　(△) 進める
㉑	タイマー入切ボタン	
㉒	ルーバーボタン	
㉓	風速ボタン	
㉔	換気ボタン	
㉕	点検(クリア)ボタン	
㉖	運転/停止ボタン	
㉗	上下風向ボタン	
㉘	フィルター(↵)ボタン	
㉙	試運転ボタン	
㉚		室温センサ内蔵位置

お知らせ

- “PLEASE WAIT”表示（初期設定中）　電源を入れたときと停電から復帰したとき、約3分間表示します。
- 運転モードの点滅表示
  同一の室外ユニットに接続された他の室内ユニットが、すでに異なる運転モードで運転をしている場合に表示します。他の室内ユニットの運転モードに合わせてください。
- “無効ボタン”表示
  操作ボタンを押してもその機能が室内ユニットに装備されていない場合には“無効ボタン”と点灯表示が出ます。1台のリモコンで複数の室内ユニットを操作している場合、代表の室内ユニットが機能を装備していれば、表示されません。
- 室温表示
  本体の室温センサを使用時で複数台の室内ユニットを操作されている場合、リモコンには、代表室内ユニット（親機）の内容が表示されます。室温センサ位置は、“本体”と“リモコン”が選択でき、初期設定は、“本体”です。
- 使用する場合は、リモコンの取扱説明書を参照してください。

[3] ワイヤレスリモコン

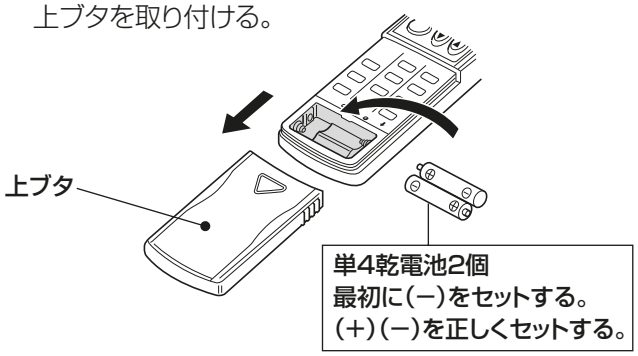


フタを下ろした状態

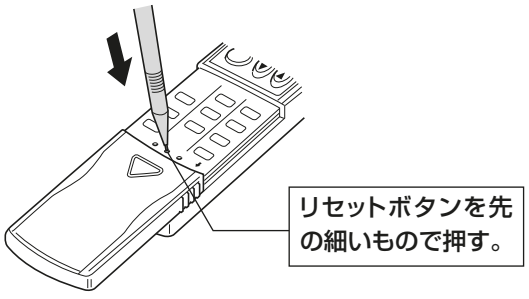
(1) 電池を入れる／交換の方法

手順

1. 上ブタを引き抜き、単4乾電池2個を入れて上ブタを取り付ける。



2. リセットボタンを押す。



お知らせ

- リモコンは、室内ユニットの受光部に向かって送信してください。
- 電源を入れてすぐにリモコン操作をした場合、室内ユニットから“ピッピッ”と発信音がすることがあります。初期自動点検中ですので約３分間待ってください。
- リモコン送信部の信号が受光部へ届き、室内ユニットから“ピッ”と音を出してお知らせします。この信号の届く範囲は直線方向で約7m左右方向約45°程度です。また、蛍光灯などの照明や強い光の影響を受けて、信号が届きにくくなることがあります。
- 受光部付近の運転ランプが点滅しているときは点検が必要です。
  お買上げの販売店へ連絡してください。

お願い

- リモコンは落としたり、衝撃を与えないでください。また、水にぬらしたり湿度の高いところに置かないでください。
- 紛失防止のためにリモコンホルダ（リモコンに付属）を壁に固定し、使用後は元に戻すようにしてください。

2. 別売部品

パッケージエアコンには、多様な使い方に対応していただけるように、専用の別売部品を用意しています。

室内ユニット用別売部品

- 高性能フィルタ（捕集率　65%）
  例えば、学校・学習塾など、チョークの粉などが多い環境で使用してください。
- フィルタボックス
  高性能フィルタを使用する場合は、フィルタボックスが必要です。
- 加湿器
  暖房中、室内の湿度が不足する場合に本体とセットで利用してください。
  ※ 別途据付工事が必要です。

上記以外にも多々別売部品があります。お買上げの販売店に問い合わせてください。

3. ご使用の前に

- お客様ご自身では据付けないでください。（安全や機能の確保ができません。）
- 本製品の据付工事は、販売店（工事店）が関連法規・資格に基づき実施しております。
- 据付工事完了後、「8. 据付工事の確認と試運転（46ページ）」の事項をお客様ご自身でご確認ください。
- 販売店（工事店）が試運転を行う際、立ち会ってください。
- 運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、販売店（工事店）から説明を受けてください。

3-1. 使用上のお願い

⚠ 警 告

吹出し風を身体に直接当てないこと。

- 体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。

禁止

冷やし過ぎないこと。

- 体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。

禁止

“ビル用マルチエアコン”を上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境を作ってください。

1) 室内温度（室温）は最適にしてください。
   - 冷房運転では室内と室外の温度差を5℃以内にするのが最適です。
   - 冷やし過ぎは電力のムダ使いにもなります。
     たとえば冷房のとき設定温度を1℃上げると約10%の電力が節約できます。

2) 冷房時は熱の侵入を少なくしてください。
   - 冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしてください。
   - 出入口は必要なとき以外は開けないようにしてください。

3) 室内ユニットの吹出し風を長時間直接肌に当てないでください。
   - 特に赤ちゃんや子供は大人に比べて敏感です。室内ユニットの風を直接肌に当てないでください。

4) フィルタの清掃をしてください。

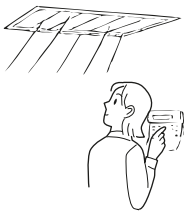
- フィルタの目詰まりは風の流れを悪くし、冷房･暖房能力を低下させます。電力のムダ使いとなります。また故障の原因にもなります。
- ワイヤードリモコンはフィルタサイン付きです。

※ フィルタの清掃は専門の業者に依頼してください。

5) 中間期にはドライ運転をしてください。

- ムシムシすると感じるときは、空気中に含まれる水蒸気が多い状態です。湿度は温度や風との関係があり、快適と感じる湿度条件は夏で60～70%、冬では55～70%程度といわれています。
- ムシムシするとき、冷房運転では冷えすぎと感じるときがあります。ドライ運転を利用してください。

6) 室内の温度ムラ解消に風向調節をしてください。



- 冷たい空気は重たいので水平吹出しなどにして、上方から冷やすよう風向を調節してください。
- 暖房時、足元が寒いのは、冷たい空気は重いので床の近くにたまるからです。下吹出しなど風向を調節してください。

7) ときどき換気をしてください。

- 長時間、閉め切った室内では空気が汚れますので、ときどき換気が必要です。
- 送風運転は、室内の空気を循環させるはたらきをします。
- 冷房・ドライ・暖房運転をしない中間期に換気扇との連動運転をしますと、より効果的な換気ができます。当社“ロスナイ換気扇”を利用しますとムダのない換気ができます。

3-2. 各種運転について

(1) ドライ運転について

- ビル用マルチエアコンではマイコン制御により、お好みの室温に合わせて冷やし過ぎを抑えた除湿運転（ドライ運転）を行います。
- 室温 18℃未満では、ドライ運転はできません。
- 室内ファンは室内ユニットのマイコンで風速の切替えが行われ、リモコンでは設定できません。
- 運転モード

室温	圧縮機運転３分後		圧縮機運転時間（分）	圧縮機停止時間（分）
	温調信号	室温		
18℃以上	ON ※1	28℃以上	9	3
		26℃以上、28℃未満	7	3
		24℃以上、26℃未満	5	3
		24℃未満	3	3
	OFF ※2	無条件	3	10
18℃未満	圧縮機運転禁止			

※1 温調信号 ON …室温が設定温度より高い場合

※2 温調信号 OFF …室温が設定温度より低い場合

1) お好みの室温になるまで
室内温度の変化に合わせて圧縮機と室内ファンは連動して自動的に運転・停止を繰り返します。

2) お好みの温度になると
圧縮機・室内ファンとも停止します。
10分間停止が続くと湿度を低く保つため、圧縮機と室内ファンを３分間運転します。

(2) 暖房運転について

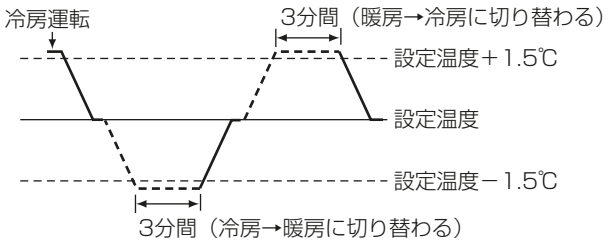
- 暖房開始時に風が出ない：室内ファンは吹出し空気の温度上昇に合わせて、徐々に設定風速へ切り替わります。
  （ホットスタートといいます。このときリモコンに“暖房準備中”が表示されます。）
- 風速が設定どおりでない：室温が設定温度になると、風速は微風となります。
- 運転を停止しても風が出る：運転停止後約１分間室内ユニット内の余熱を排熱するために、室内ファンが回ることがあります。

(3) 自動運転について

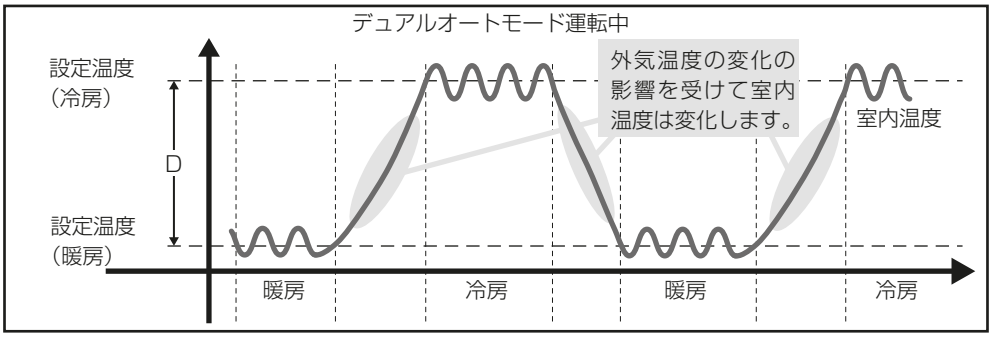
自動運転には、シングルオートモードとデュアルオートモードがあります（リモコン表示は、両モードとも「自動」です）。

※ 室外ユニットや室内ユニットの機種により、自動機能がない場合があります。

- シングルオートモード
  シングルオートモードでは、冷房・暖房の設定温度を共通設定とし、設定温度より室温が高いときは冷房運転を開始し、室温が低いときは暖房運転を開始します。
  自動運転中に室温が変化し設定温度より 1.5℃以上高くなり、その状態が３分続くと冷房運転に切り替わります。
  また、1.5℃以上低くなり、その状態が３分続くと暖房運転に切り替わります。



- デュアルオートモード
  デュアルオートモードでは、２値（冷房･暖房）の温度を設定でき、デュアルオートモード運転中は室内温度により室内ユニットが自動的に冷房と暖房を切り替え、２つの設定温度内に室内温度を維持します。
  デュアルオートモードで設定された冷房と暖房の設定温度は冷房 / ドライ、暖房モードそれぞれ設定温度の設定に反映されます。
  下図はデュアルオートモードで動作中のユニットの動作パターンを示します。



※ 冷房設定温度と暖房設定温度の差（D）の最小値は、接続する室内ユニットにより異なります。

※ リモコンや室内ユニットの機種により、デュアルオートモード機能がない場合があります。

(4) 換気連動運転について

- ユニットの運転を開始すると、自動的に換気装置も運転を開始し、室内空気と新鮮な外気とを混合させ、より効果的な換気を行うものです。

(5) 送風運転について

- 送風運転は、お部屋の空気を循環させる働きをします。換気装置との連動運転を行うと、より効果的な換気ができます。

(6) 霜取運転（霜取中）について

- 外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かす運転を行っているときに表示します。霜取運転は約 10 分程度（最大 15 分）で終わります。

・霜取運転を行っているときは、室内ユニットの熱交換器が冷たくなりますので、送風機を停止しています。また、この間は上下風向ベーンを水平吹きに自動設定します。霜取運転を終了しますと暖房準備中へと移行します。

(7) 風速自動について

・冷暖房運転のとき、設定温度と室温の差により風速を自動で切り替えます。
  ・設定温度と室温の差が大きい→風速“強”
  ・設定温度と室温の差が小さい→風速“弱”

(8) 風向について

・2方向カセット形の場合、出荷時設定は風向設定水平30°です。風向設定を水平0°（冷風防止ベーン設定）として冷房・ドライ運転を長時間続けると、天井内の環境によっては天井ボード裏が結露する場合があります。天井ボードに断熱材を追加するなどの対策を検討してください。

4. 使用方法

4-1. 運転方法

⚠ 警告

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

- 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

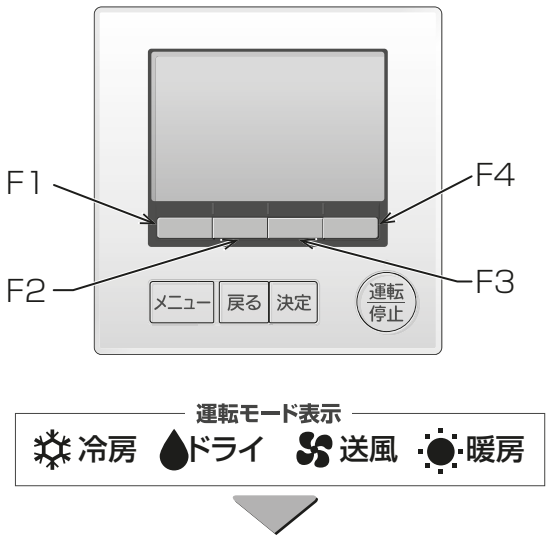
異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切ること。

- お買い上げの販売店・お客様相談窓口に連絡すること。
- 異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。

お願い

・運転を開始する12時間以上前に電源を入れてください。
・停電や電気工事、また外気温度が10℃以下で1日以上電源を切って放置した場合は、電源を入れてから12時間以上運転を待ってください。
・ユニット運転期間中は電源を切らないでください。故障のおそれがあります。

4-1-1. 運転／停止と運転モード、室温調節



[1] 運転の開始、運転モードを選ぶとき

MAスマートリモコンの場合

手順

1. (運転停止) ボタンを押す。
   運転ランプと表示が点灯します。
2. F1 ボタンを押す。
   1回押すごとに設定が切り替わります。

冷房 ➡ ドライ ➡ 送風 ➡ 自動 ➡ 暖房
※1 ※2 ※2,3

※1 室温18℃未満では、ドライ運転はできません。また、機種によってドライ運転はできません。
※2 室外ユニットの機種により、自動、暖房機能がない場合があります。リモコンの機能選択で自動モード使用無し設定の場合は表示されません。詳しくは、MAスマートリモコンの据付工事説明書（設定編）を参照してください。
※3 冷房専用設定とした場合は、暖房の表示はされません。設定もできません。
※4 換気装置が連動されている場合、すべての運転モードで連動しています。

ワイヤレスリモコンの場合

手順

1. (入/切) ボタンを押す。
   表示が点灯します。
2. 運転切換 ボタンを押す。

冷房 ➡ ドライ ➡ 自動 ➡ 送風 ➡ 暖房
※1 ※1

※1 換気装置が連動されている場合、すべての運転モードで連動しています。

[2] 設定温度を変えたいとき

- 1回押すごとに設定温度をMAスマートリモコンの場合は0.5℃、ワイヤレスリモコンの場合は1℃単位で変えられます。MAスマートリモコンでは設定温度単位を変更することが可能です。詳しくはMAスマートリモコンの取扱説明書を参照してください。
- 温度設定範囲は次のとおりです。

冷房・ドライ運転	暖房運転	自動運転	送風・換気
19～30℃	17～28℃	19～28℃	設定できません

※ 接続室外ユニットによって、表とは設定温度範囲が異なることがあります。また、設定温度範囲制限が設定されている場合、可変できる温度範囲が狭くなります。（設定温度範囲制限中は 🌡 が表示されます。）範囲を超えて設定しようとした場合、“設定温度制限中” が点滅表示され、制限中であることが表示されます。詳しくは、リモコンの取扱説明書を参照してください。

MAスマートリモコンの場合

(1)室温を下げたいとき

手順
1. F2 ボタンを押す。

(2)室温を上げたいとき

手順
1. F3 ボタンを押す。

ワイヤレスリモコンの場合

手順
1. (▼) ボタンを押す。
2. (▲) ボタンを押す。

[3] 運転を停止するとき

⚠注意

運転停止後、すぐにユニットの電源を切らないこと。

- 運転停止から5分以上待つこと。
- ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。

禁止

MAスマートリモコンの場合

手順

1. (運転停止) ボタンを押す。

(1)再運転時の動作内容

MAスマートリモコンで再運転した場合は、右表の内容で動作します。
(ワイヤレスリモコンでの再運転は、リモコンの設定されている内容に従います。)

(2)ワイヤレスリモコンの電池を入れたとき

電池を入れたときや交換したときには、リセットボタンを押してください。(15ページ 参照)
その際のワイヤレスリモコンの初期状態は右表となります。

ワイヤレスリモコンの場合

手順

1. (入/切) ボタンを押す。

	MAスマートリモコンで再運転した場合の動作内容			ワイヤレスリモコンの電池組込み時の初期状態
運転モード	前回の運転モード			送風モード
設定温度	前回の設定温度			−
風速	前回の設定風速			強
上下風向	運転モード	冷房・ドライ	水平吹出し※	水平吹出し
		暖房	前回の設定風向	
		送風・換気	水平吹出し※	

※機種により、前回の設定風向となる場合があります。
またスイングの場合はスイング継続します。

4-1-2. 風速・風向調節と換気運転

[1] 風速を変えたいとき

MAスマートリモコンの場合

手順

1. F4 ボタンを押す。

1回押すごとに設定が切り替わります。

ワイヤレスリモコンの場合

手順

1. 風 速 ボタンを押す。

※1 ワイヤレスリモコンで風速自動にする場合は、リモコンの設定が必要になります。

	風速	MAスマートリモコンの場合	ワイヤレスリモコンの場合
PLFY-P22～140LMG形	4速+自動	(弱)→(中2)→(中1)→(強)→(自動)	(弱)→(中2)→(中1)→(強)→(自動)※1
PDFY-P22～140GMG形 PEFY-P224, 280SMG形	3速+自動	(弱)→(中)→(強)→(自動)	(弱)→(中)→(強)→(自動)※1
PEFY-P45～160MG形(-F形以外)	2速+自動	(弱)→(強)→(自動)	(弱)→(強)→(自動)※1
PFFY-P28～71LEMG形 PFFY-P28～71LRMG形	2速	(弱)→(強)	(弱)→(強)
PEFY-P224, 280MG形 PEFY-P90～280MG形(-F形のみ) PFFY-P112～280RMG形 PFFY-P224～560DMG形	1速	表示なし	

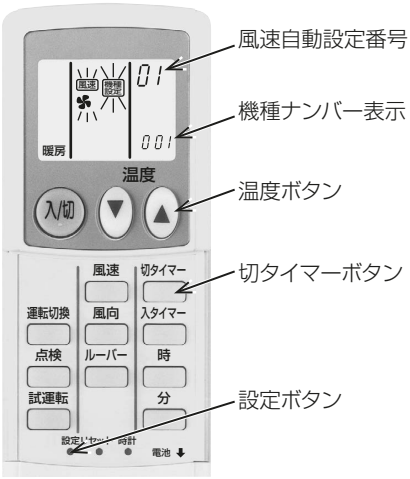
※機種により設定できる風速が異なります。(詳しくは8ページを参照してください)

お知らせ

- 以下のようなときは、液晶表示とユニットの風速が異なります。
  - 暖房準備中"・"暖房霜取中" 表示のとき
  - 暖房運転直後 (モード切換待機中)
  - 暖房モードで設定温度より室温が高いとき
  - ドライモードのとき

(1) 風速自動設定方法(ワイヤレスリモコンの場合のみ)

風速自動機能がある機種(8ページ参照)で、ワイヤレスリモコンを使用する場合は、本設定を行うことにより風速自動が選択可能になります。
(ワイヤードリモコンを使用する場合には設定不要です。)



手順

1. 設定ボタンを押す。(ボールペンなど先の細いもので押してください。)
   リモコン表示が停止の状態から操作してください。
   機種設定 が点滅、機種ナンバー(3桁の数字)が点灯表示します。
2. 切タイマー ボタンを押す。
   風速 が点滅表示し、風速自動設定番号が点灯表示します。
   (設定番号01:風速自動なし)
3. ▼、▲ 温度ボタンを押して設定番号を02に合わせる。(設定番号02:風速自動あり)
   ※ 操作を間違えた場合は、入/切 ボタンを押し、手順**2.** の操作からやり直してください。
4. 設定ボタンを押す。(ボールペンなど先の細いもので押してください。)

[2] 上下風向を変えたいとき

MAスマートリモコンの場合

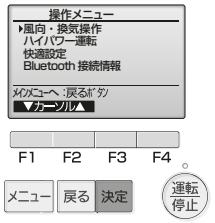
F4 ボタンの長押し(1秒以上)操作、または本操作により風向操作画面を表示させ、上下風向を設定します。

手順

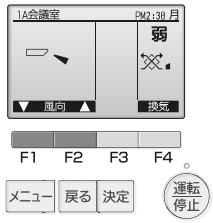
1. メニュー ボタンを押す。

2. 決定 ボタンを押す。

3. 決定 ボタンを押す。



4. F1 F2 ボタンを押す。



1回押すごとに設定が切り替わります。

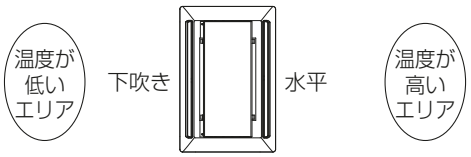
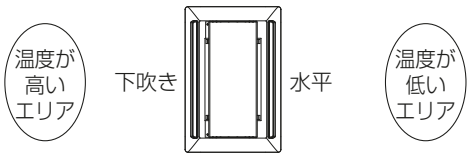
	MAスマートリモコンの場合
PLFY-P22~140 LMG形	スイング ↔ 自動※3※2 ↔ 設定1 ↔ 設定2※3 ↔ 設定3 ↔ 設定4 ↔ 設定5

※1 角度は風向の目安です。(ベーン角度ではありません。)
※2 自動設定時のベーン角度は、冷房/送風/ドライモード時「設定1」、暖房モード時「設定5」となります。
※3 ベーン角度の5段階設定は、MAリモコンからのみ設定可能です。
その他リモコンから操作した場合、「自動」「設定2」は設定できません。

ワイヤレスリモコンの場合

手順

1. 風 向 ボタンを押す。

標準パネル	冷房・送風・ドライは設定1、暖房は設定5になります。
ムーブアイセンサパネル(PLFY-P22～140LMG形)	人感風向設定に従って、自動時の風向が次のようになります。設定方法は33ページを参照してください。 (省エネ自動モード設定の場合)冷房･送風･ドライは設定1、暖房は設定5になります。 (快適自動モード風よけ設定の場合)人を検知すると、暖房は設定5→設定1に変化します。冷房･ドライ･送風時は設定1のままです。 (快適自動モード風あて設定の場合)人を検知すると、冷房･ドライは設定1→スイング、送風は設定5に変化します。暖房は設定5のままです。 ※場所によっては「風よけ」でも風があたる場合や、「風あて」でも風があたらない場合があります。 (エリアムーブアイ設定の場合)エリアムーブアイになります。 エリアムーブアイは各吹出口のエリアごとに体感温度を演算し、風向を次のように制御します。 ■暖房時　エリアの温度差があるときは下図のようになります。温度差が小さくなるとすべて下吹き(設定5)になります。  ■冷房時　エリアの温度差があるときは下図のようになります。温度差が小さくなるとすべて水平(設定1)になります。 

お知らせ

- ムーブアイの設定はワイヤレスリモコンでは行えません。

上下風向ベーンの運転・設定内容

運転モード	設定					
暖房・送風	スイング	設定1	設定2	設定3	設定4	設定5
冷房・ドライ	スイング	設定1	設定2	設定3	設定4	設定5
運転モードを変更したときの上下風向設定	――	冷房･ドライ･送風運転	――	――	――	暖房運転

※ ベーンを手で絶対に動かさないでください。
露垂れ・ベーン故障の原因になります。

- 機種により風向機能がない場合があります。
- PFFY-P224～560DMG形(別売プレナム取付時)の風向調節は手動で行います。
上下方向：横ルーバを手で上下に動かしてください。
左右方向：縦ルーバをプライヤなどで左右に動かしてください。
※動かし過ぎると縦ルーバの根元が破断する原因となります。
できるだけ角度の変更は少なくしてください。

運転モード変更時のマイコン自動設定
(スイング設定のときは継続します)

- 冷房･送風･ドライモードにしたとき…設定1
- 暖房モードにしたとき　……設定5

お知らせ

- 以下のようなときは、液晶表示とユニットの上下風向が異なります。
  - “暖房準備中”・“暖房霜取中”表示のとき
  - 暖房モードで設定温度より室温が高いとき
  - 暖房運転直後(モード切替待機中)
  - PLFY-P22～140LMG形の場合は、各吹出口ごとに上下風向を固定することができます。次項「[3] 上下風向角度の固定設定方法(ワイヤードリモコンからのみ固定設定できます)」を参照して、操作してください。
    なお、固定した上下風向はリモコンによる操作、およびすべての自動コントロールが無効になります。
    また、リモコンの液晶表示と異なる場合があります。

[3] 上下風向角度の固定設定方法（ワイヤードリモコンからのみ固定設定できます）

PLFY-P22～140LMG形の場合、下記の設定で、特定の吹出口のみ、特定の風向角度に固定することができます。一度下記の設定を行えば、以後ユニットを運転した際、設定された吹出口のみ風向固定角度となります。（その他の風向は、リモコンの風向設定角度に従います。）

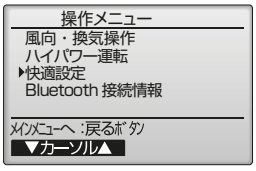
(1) 設定の手順

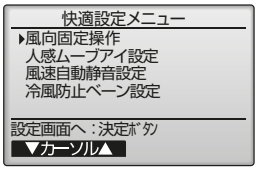
リモコンから室内ユニットの吹出口ベーンの固定設定が行えます。

1) ユニットを『停止』にして、リモコンを『風向固定操作』画面にします。

手順

1. メインメニュー画面で「操作」を選択し 決定 ボタンを押す。
2. 操作メニュー画面で「快適設定」を選択し 決定 ボタンを押す。
3. 快適設定メニュー画面から F1 ボタン、F2 ボタンにより「風向固定操作」を選択し 決定 ボタンを押す。

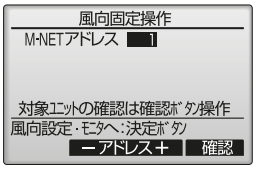




2) 設定したい室内ユニットの「M-NETアドレス」を選択します。

手順

1. F2 ボタン，F3 ボタンにより設定する「M-NETアドレス」を選択し 決定 ボタンを押す。
   - 室内ユニットのM-NETアドレス：1～50



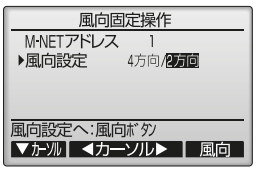
お知らせ

- 設定ユニットを確認したい場合、上記 **1.** の手順で「M-NETアドレス」を選択し F4 ボタンを操作することで、対象室内ユニットのベーンのみ下吹きになります。詳細は「[4](2) 対象ユニット確認の手順」（26ページ）を参照してください。

3) 風向設定をする室内ユニットの種類を選択します。

手順

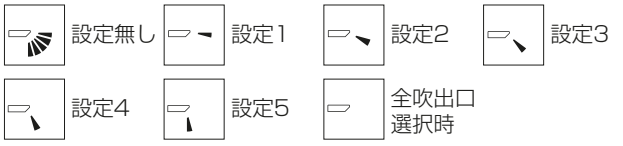
1. F1 ボタンで「風向設定」を選択する。
2. F2 ボタン，F3 ボタンで2方向を選択し F4 ボタンを押す。

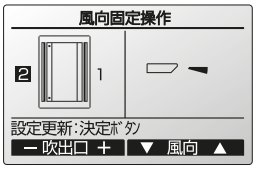


4) 現在の設定内容を表示します。

手順

1. F1 ボタン，F2 ボタンで「吹出口」を選択する。
   選択した「吹出口」の現在の固定設定状態が下図のように表示されます。





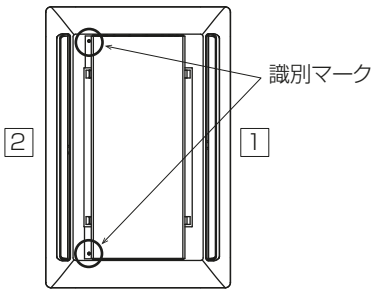
5) 風向を設定します。

手順

1. F1 ボタン，F2 ボタンで固定したい「吹出口」を選択する。
   - 吹出口：1，2，すべて（1,2すべて反転表示）
2. F3 ボタン，F4 ボタンで設定したい「風向」を選択する。
3. 選択し終わったら 決定 ボタンを押す。
   設定中画面が表示されます。

お知らせ

- 吹出口の識別方法は、吸込口の識別マークの有無で識別してください。
- 選択している「吹出口」に対して設定を行います。
  各吹出口を別々の風向で設定したい場合は、吹出口ごとに設定を行ってください。



6) 各「吹出口」の「風向」を設定します。

手順

1. 5) を参考に、各吹出口の設定を行う。
2. 他の室内ユニットの設定を行いたい場合は、4) の画面で 戻る ボタンを押して 3) の画面に戻し、2) ～ 5) を参考に各室内ユニットの風向固定設定を実施する。

7) 風向固定操作の終了

手順

1. 2) で 戻る ボタンを押して快適設定メニュー画面に戻る。
2. メニュー ボタンを押すとメンテナンス終了処理を実施（約 30 秒）後、操作メニューに戻る。

【固定内容のクリア方法】
・上記 5) の操作でクリアしたい「吹出口」を選択して、風向設定で「設定無し」 を設定してください。

[4] 冷風防止ベーン設定方法（MA スマートリモコンからのみ設定ができます）

PLFY-P22～140LMG形の場合、下記の設定でベーン設定角度を標準位置よりも高めに設定し、水平吹出しによる冷房時のドラフト感を抑えることができます。冷風防止ベーン設定は、PLFY-P22～140LMG形のみ設定できます。

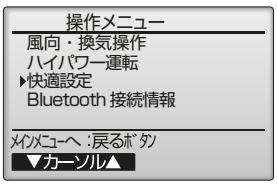
お知らせ

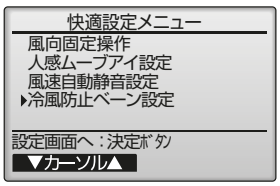
- 冷風防止ベーン設定をした場合、冷房・ドライ運転を長時間続けると、天井内の環境によっては天井ボード裏が結露する場合があります。天井ボードに断熱材を追加するなどの対策を検討してください。また吹き出した空気により天井が汚れる場合があります。

(1) 設定の手順

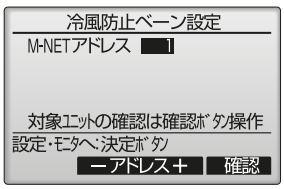
手順

1. ユニットを『停止』にする。
2. メインメニュー画面で「操作」を選択し 決定 ボタンを押す。
3. 操作メニュー画面で「快適設定」を選択し 決定 ボタンを押す。
4. 快適設定メニュー画面から F1 ボタン，F2 ボタンにより「冷風防止ベーン設定」を選択し 決定 ボタンを押す。

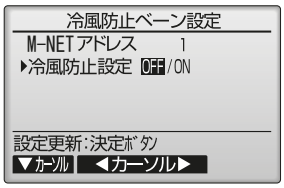




5. F2 ボタン，F3 ボタンにより設定する「M-NETアドレス」を選択し 決定 ボタンを押す。
   - M-NETアドレス：1～50
     ※ 接続されているM-NETアドレスのみ選択できます。



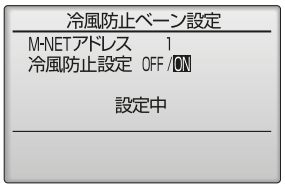
手順 5. で指定した室内ユニットの現在の設定内容が表示されます。
- 冷風防止設定：OFF（標準設定）／ON（冷風防止設定）



メモ

- 設定ユニットを確認したい場合、上記の手順で「M-NETアドレス」を選択し F4 ボタンを操作することで、対象室内ユニットのベーンのみ下吹きになります。詳細は「(2) 対象ユニット確認の手順」を参照してください。

6. F2 ボタン，F3 ボタンにより「冷風防止設定」を設定し 決定 ボタンを押す。



お知らせ

- 他の室内ユニットの設定を行いたい場合は、戻る ボタンを押して手順5.の画面まで戻し、手順5.～手順6.を参考に各室内ユニットの風向固定設定を実施してください。

7. 手順5.で 戻る ボタンを押して快適設定メニュー画面に戻る。
8. メニュー ボタンを押す。
   メンテナンス終了処理を実施（約30秒）後、操作メニューに戻ります。

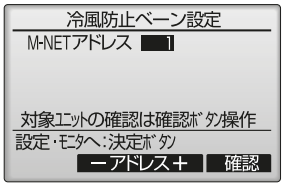
(2) 対象ユニット確認の手順

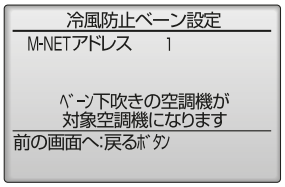
1) 最初に「M-NETアドレス」= 1から確認します。

手順

1. F2 ボタン，F3 ボタンにより確認する「M-NETアドレス」を設定する。
2. F4 ボタンを押す。
   - M-NETアドレス：1～50
     ※ 接続されているM-NETアドレスのみ選択できます。

   F4 ボタン操作後、約15秒待ってください。……ユニットの状態は？
   →吹き出し口が下吹きになる。→「M-NETアドレス」= 1のユニットです。
   →すべての吹出口が塞がる。→2) 項の手順へ
3. 戻る ボタンを押して、手順1.の画面に戻す。



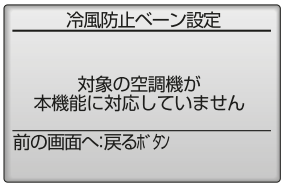


2) 「M-NETアドレス」を順次変更して確認します。

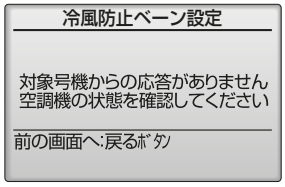
手順

1. F2 ボタン，F3 ボタンにより確認する「M-NETアドレス」を変更し
   F4 ボタンを押す。
   F4 ボタン操作後、約15秒待ってください。……ユニットの状態は？
   →吹出口が下吹きになる。→リモコンに表示されているユニットです。
   →すべての吹出口が塞がる。→戻る ボタンを押して、手順1.からの操作を続けます。
   →右記、メッセージ画面1が表示される。→確認中のM-NETアドレスのユニットが、本機能に対応していません。
   →右記、メッセージ画面2が表示される。→このリモコンが接続されている室内ユニットの中に確認中のM-NETアドレスは存在しません。
2. 戻る ボタンを押して、1) 項の手順1.の画面に戻す。

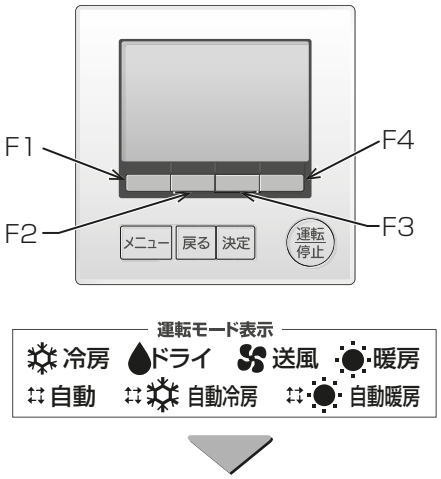
メッセージ画面1



メッセージ画面2



4-1-3. 自動運転、換気運転のしかた



[1] 自動運転を行うとき

MAスマートリモコンの場合

手順

1. (運転停止) ボタンを押す。
2. F1 ボタンを押して表示を「自動」にする。

設定温度より室温が高いときは冷房運転を、室温が低いときは暖房運転を開始します。(18ページ 参照)

※運転モードが確定した後に、現在の運転モード[自動冷房]、[自動暖房]が表示されます。
なお、リモコンの初期設定で、「自動冷暖表示:しない」に設定変更されている場合には、"冷房"、"暖房"は表示されません。([自動]の表示のみ)
(リモコンの初期設定については、リモコンの据付工事説明書(設定編)を参照してください。)

ワイヤレスリモコンの場合

手順

1. (入/切) ボタンを押す。
2. 運転切換 ボタンを押して表示を 自 動 にする。

[2] 換気運転を行うとき

MAスマートリモコンの場合

1) 室内ユニットと連動して換気装置を運転するとき

手順

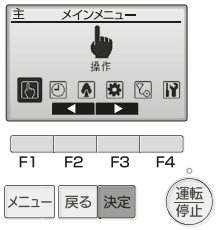
1. 運転停止 ボタンを押す。
   - 室内ユニットを運転したとき、自動的に換気装置も運転します。

2) 換気装置を単独で運転するとき

手順

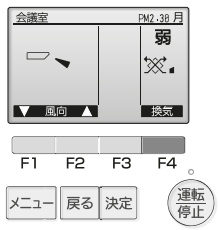
1. メニュー ボタンを押す。

2. 決定 ボタンを押す。



3. 決定 ボタンを押す。

4. F4 ボタンを押す。



3) 換気運転の風速を変えたいとき

手順

1. F4 ボタンを押す。

お知らせ

- 室内ユニットと換気装置の機種により、換気装置のみを運転した場合でも室内ユニットのファンが動作する場合があります。

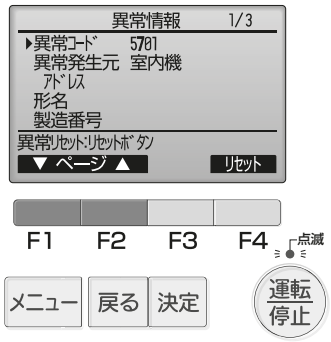
ワイヤレスリモコンの場合

- 換気装置が連動接続している場合はユニットが運転を開始すると自動的に換気も運転します。
- リモコンには表示されません。
- 換気装置の単独運転はできません。

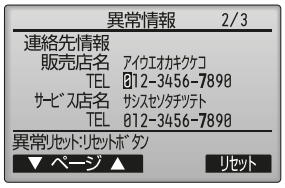
4-1-4. その他の表示・点滅について

[1]「運転ランプ」が点滅し液晶画面に異常情報が表示されている場合

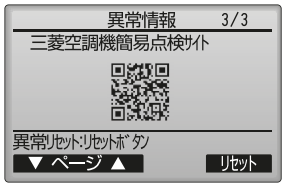
ユニットに異常が発生しているため、運転を継続できずに停止しています。
異常内容を確認のうえ、ユニットの電源を切り、お買い上げの販売店（工事店･サービス店）にご連絡ください。



異常コード、異常発生元、M-NETアドレス、形名、製造番号を表示します。
形名、製造番号はあらかじめ入力されている場合に表示します。
F1 F2 ボタンを押すと、次のページを表示します。



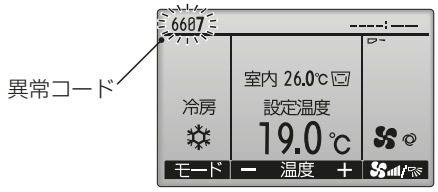
連絡先情報はあらかじめ入力されている場合に表示します。



携帯電話点検コード検索サービスサイトの二次元バーコードを表示します。

[2]「異常コード」のみが点滅している場合（運転ランプは点灯したまま）

ユニットは運転を継続していますが、異常が発生している可能性があります。
異常コードを確認のうえ、お買上げの販売店（工事店･サービス店）にご連絡ください。



4-1-5. タイマー、スケジュール、省エネ運転のしかた(MA スマートリモコンの場合)

MA スマートリモコンから、タイマー運転、週間スケジュール運転、省エネ運転の設定ができます。
MA スマートリモコンのメニューボタンを押してメインメニュー画面を表示し、 F2 F3 ボタンで設定したい運転を選択します。各運転の詳細設定方法は、リモコンの取扱説明書を確認してください。

[1] タイマー運転

(1) オン／オフタイマー

運転開始時刻と停止時刻が５分単位で設定できます。

(2) 消忘れ防止タイマー

運転を開始してから停止するまでの時間を 10 分単位で設定できます。設定時間は 30 分から 240 分の範囲で設定できます。

[2] 週間スケジュール運転

1 週間の運転開始時刻と停止時刻が設定できます。
1 日最大８パターンの設定ができます。

[3] 省エネ運転

(1) 設定温度自動復帰

設定時間後に、設定した温度に戻します。設定時間は 10 分単位で 30 分から 120 分の範囲で設定できます。

(2) 省エネ運転スケジュール

1 週間の省エネ運転開始時刻と停止時刻、能力セーブ値が設定できます。1 日最大４パターンの設定ができます。設定時刻は５分単位で設定できます。能力セーブ値は 10%単位で 90%から 50%の範囲と 0%で設定できます。

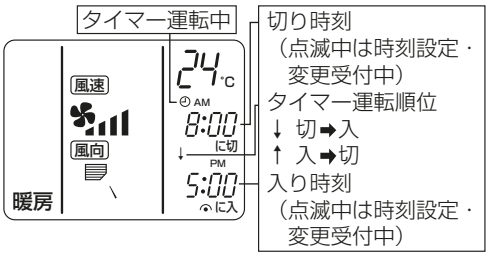
お知らせ

- 週間スケジュール運転、省エネ運転は、ワイヤレスリモコンでは設定できません。

4-1-6. タイマー運転のしかた（ワイヤレスリモコンの場合）

タイマー運転の設定は、ワイヤレスリモコンの送信部を室内ユニットの受光部に向けて操作ボタンを押したとき、室内ユニットから“ピッ”と音のすることを確認しながら行ってください。

1) タイマー運転には次の３つの方法があります。
   - 入タイマー運転 運転の開始のみをタイマーで行う。
   - 切タイマー運転 運転の停止のみをタイマーで行う。
   - 入⇄切タイマー運転 運転・停止の両方をタイマーで行う。



2) タイマー運転の設定は、24時間以内に入・切各１回以内です。

3) タイマー時刻設定は、10分単位です。

[1] 現在時刻の設定を行うとき

手順

1. 入/切 ボタンを押す。
   リモコンに表示がでます。
2. 時計ボタンを押す。
   現在時刻が点滅します。
3. 時 ボタン・ 分 ボタンを押し、現在時刻を合わせる。（電池を入れて最初に現在時刻を合わせるときはここから操作してください。）
4. 時計ボタンをもう１回押す。
   現在時刻が点灯します。（現在時刻合わせの設定完了です。）
   - 設定中に現在時刻が点滅から点灯に変わったときには手順**2.**からやり直してください。

[2] 入タイマー運転を行うとき

手順

1. 入/切 ボタンを押す。
   リモコンに表示がでます。
2. 入タイマー ボタンを押す。
   現在時刻が消灯し、入り時刻と🕘が点灯します。“に入”表示が点滅します。
3. 時 ボタン・ 分 ボタンを押し、入り時刻を合わせる。
   - 入タイマー時刻設定後“に入”表示は10秒間点滅して点灯に変わり、入タイマー設定が完了します。
   - ユニットの運転は自動的に停止し、入り時刻 まで待ちます。
   - 設定中に“に入”表示が点滅から点灯に変わったときには 入タイマー ボタンを押した後、手順**2.**からやり直してください。

[3] 切タイマー運転を行うとき

手順

1. 入/切 ボタンを押す。
   リモコンに表示がでます。
2. 切タイマー ボタンを押す。
   現在時刻が消灯し、切り時刻と🕘が点灯します。“に切”表示が点滅します。
3. 時 ボタン・ 分 ボタンを押し、切り時刻を合わせる。
   - 切タイマー時刻設定後“に切”表示は10秒間点滅して点灯に変わり、切タイマー設定が完了します。
   - 設定中に“に切”表示が点滅から点灯に変わったときには 切タイマー ボタンを押した後、手順**2.**からやり直してください。

[4] 入⇄切タイマー運転を行うとき

手順

1. 入タイマー・切タイマー両方の設定をする。
   - ↑↓表示は↑または↓どちらかが表示され、
     ↑は、停止➡運転（入り時刻）➡停止（切り時刻）
     ↓は、運転➡停止（切り時刻）➡運転（入り時刻）を表します。

[5] タイマー運転を解除するとき

1) 入タイマー運転を解除するとき

手順

1. 入タイマー ボタンを押す。
   入り時刻が消灯し、入タイマーを解除します。

2) 切タイマー運転を解除するとき

手順

1. 切タイマー ボタンを押す。
   切り時刻が消灯し、切タイマーを解除します。

3) 入⇄切タイマー運転を解除するとき

手順

1. 入タイマー ボタンと 切タイマー ボタンを押す。
   入り時刻と切り時刻が消灯し、タイマーを解除します。

4) タイマー運転を解除し、ユニットを停止するとき

手順

1. 入/切 ボタンを押す。
   ユニットは停止します。同時に、設定していたタイマー運転を解除します。

お知らせ

- タイマー運転が終了してユニットが運転または停止すると、次の運転は自動的に連続運転となります。

4-1-7. 人感ムーブアイ設定のしかた（PLFY-P22～140LMG形の場合）

ムーブアイセンサパネル機種の場合の各種設定方法を表示します。

(1) 人感ムーブアイ設定画面への移動方法

手順

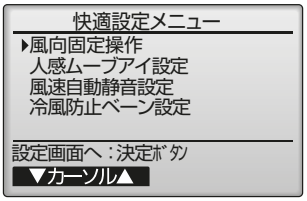
1. 操作メニュー画面で「快適設定」を選択し、決定ボタンを押す。
2. F1 、F2 ボタンで、「人感ムーブアイ設定」を選択し、決定ボタンを押す。

お知らせ

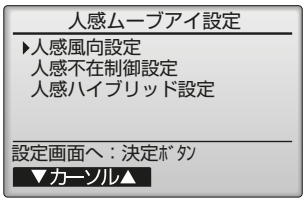
- PLFY-P22～140ＬMG形の場合は、各種設定が可能です。PLFY-P22～140ＬMG形で各種設定変更が出来ない場合は、正常に据え付けられていない可能性があります。その場合は、お買上げの販売店、または工事店に問い合わせてください。

3. F1 、F2 ボタンで設定する項目を選択し、決定ボタンを押す。
   - 人感風向設定
     風向制御方法を選択します。(出荷時設定：省エネ自動モード)
     省エネ自動モード／快適自動モード／エリアムーブアイ
   - 人感不在制御設定
     人感ムーブアイが検知した人数に応じて、省エネ運転をします。
     不在省エネモード／在室率省エネモード／不在停止モード
     (出荷時設定：すべてOFF)
   - 人感ハイブリッド設定
     人感ハイブリッド運転の設定をします。(出荷時設定：無)

快適設定メニュー



人感ムーブアイ設定

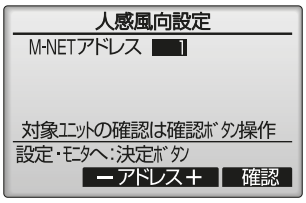


(2) 人感風向設定のしかた

手順

1. F2 、F3 ボタンで設定する「M-NETアドレス」を選択し、決定 ボタンを押す。

人感風向設定



メモ

- 設定ユニットを確認したい場合、上記 **1.**の手順で「M-NETアドレス」を選択し F4 ボタンを操作することで、対象室内ユニットのベーンのみ下吹きになります。
  詳細は「[4](2) 対象ユニット確認の手順」(26ページ) を参照してください。

2. F1 ボタンで「M-NETアドレス」·「風向自動制御」を選択する。
3. F2 、F3 ボタンで人感自動制御を設定するM-NETアドレスと風向自動制御を設定し決定 ボタンを押す。

各設定は下記モードに対応します。

省エネ： 省エネ自動モード
人感ムーブアイが人の位置を感知すると、人のいるエリアを中心に体感温度制御を行い、人に快適でムダのない冷暖房を実現します。

ムラ無： エリアムーブアイ
床面の暑いエリア、寒いエリアを見つけだし、風向を自動調節。窓側や壁側など、エリアごとに温度ムラを解消します。

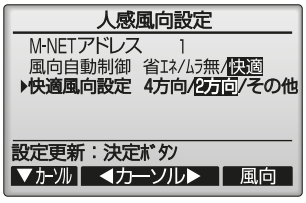
快　適： 快適自動モード
人感ムーブアイが人の位置を検知すると、人のいるエリアのベーン角度を設定に応じて自動的に調整します。4つのベーンそれぞれに「風よけ」「風あて」が選択でき、ひとりひとりに快適な風を届けます。

※省エネ自動モードは風速自動モードに、エリアムーブアイ·快適自動モードは、風向自動モードに設定する必要があります。ワイヤレスリモコンの場合は風向自動モードには設定できず、風速自動モードにする場合は、リモコンの設定が必要になります。(22ページ参照)

お知らせ

- 次のような場合には、人感ムーブアイが人を検知しにくいときがあり、その際は、人がいてもベーンが反応しないことがあります。
  - 真夏など、室内の床・壁温度が高く、人体との温度差が少ない場合
  - 厚着をして肌が表れていない場合
  - 検知範囲内にいない場合
  - 間に棚などの障害物がある場合
  - 温度変化が大きい発熱体がある場合

4. 快適自動モードを設定する場合は、F2 、F3 ボタンで室内ユニットの形式を選択し、快適風向設定の2方向を選択する。
5. F4 ボタンで快適風向設定画面に切り替える。



6. F1 、F2 ボタンで吹出口を選択してから、F4 ボタンで風向を設定し、決定 ボタンを押す。

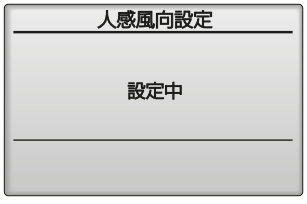
画面に「設定中」と表示されます。

7. 設定終了後、元の画面に戻り、決定 ボタンを押す。

※ 場所によっては「風よけ」でも風があたる場合や、「風あて」でも風があたらない場合があります。

快適風向設定 選択画面（2方向選択）

快適風向設定　設定中画面



メモ

- リモコン表示画面のベーン1が、対応する室内ユニットでスイングしているベーンです。ベーン1を基準にベーン2を設定してください。

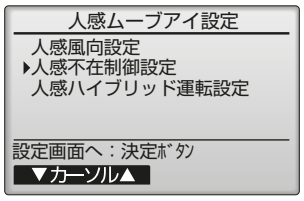
(3) 人感不在制御設定のしかた

人感ムーブアイが検知した人数に応じて、下記の省エネ運転をします。
不在制御（不在省エネモード）：室内に人がいない状態が連続で60分以上続いた場合、冷房・暖房とも2℃分の空調パワーをセーブ。ムダな冷暖房を抑えます。（2℃分能力セーブ）
在室率制御（在室率省エネモード）：在室率が30%程度の場合、冷房・暖房とも1℃分の空調パワーをセーブ。人数に応じた適切な温度制御を行います。（1℃分能力セーブ）
不在停止：設定時間連続で人を検知しなかった場合、自動的に運転を停止します。

手順

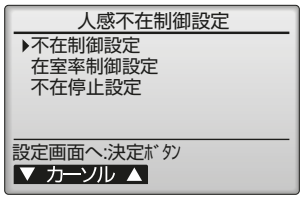
1. F1 、F2 ボタンで人感不在制御設定を選択し、決定 ボタンを押す。

人感ムーブアイ設定



2. F1 、F2 ボタンで「不在制御設定」または「在室率制御設定」もしくは「不在停止設定」を選択する。

人感不在制御設定



不在制御・在室率制御

F4 ボタンでOFF／冷房／暖房／冷暖を設定し、決定 ボタンを押す。
各設定は下記モードに対応します。
OFF：省エネ制御無効
冷房：冷房時のみ省エネ制御有効
暖房：暖房時のみ省エネ制御有効
冷暖：冷房／暖房時に省エネ制御有効

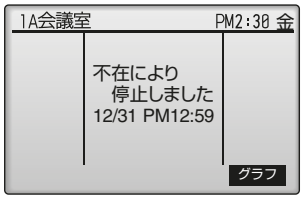
お知らせ

- 上記制御において能力セーブ中の間も、リモコンの設定温度は変更されません。

不在停止

F2 、F3 ボタンで人を検知しなくなってから停止するまでの時間を設定する。

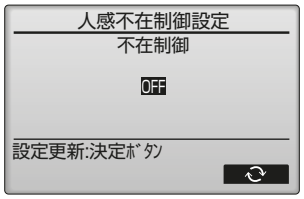
- 停止時間は60分～180分まで10分単位で設定可能です。
- 「--」を選択した場合は不在停止しません。
- 本機能により停止した場合は、リモコンに「不在により停止しました」と表示されます。

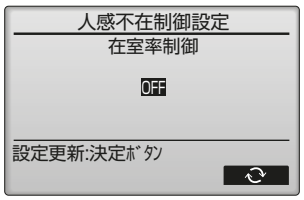


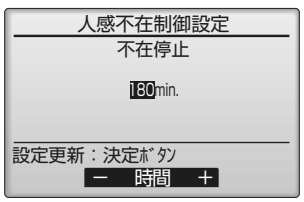
※ 下記の場合は不在停止しません。

- 運転・停止操作が集中管理中の場合（MAスマートリモコンに が表示されている場合）

※ MAリモコンでグループ制御する場合は本機能は無効となります。
※ MAスマートリモコンの操作ロックが有効に設定されている場合にも不在停止は有効です。







お願い

- 人感ムーブアイは人を検知できない場合もありますので、対物･対動植物など誤検知により停止して困る場所では使用しないでください。

お知らせ

- 次のような場合は、人感ムーブアイが不在を検知しにくいときがあり、不在停止しないことがあります。
  - 真夏など、室内の床・壁温度が高く、人体との温度差が小さい場合
  - 温度変化の大きい発熱体がある場合
- 次のような場合は、人感ムーブアイが人を検知しにくいときがあり、人がいても不在停止することがあります。
  - 真夏など、室内の床・壁温度が高く、人体との温度差が小さい場合
  - 厚着をして肌が表れていない場合
  - 検知範囲内にいない場合
  - 間に棚などの障害物がある場合
  - 温度変化の大きい発熱体がある場合
  - 人移動がなく一定の場所にとどまっている場合

(4) 人感ハイブリッド運転設定のしかた

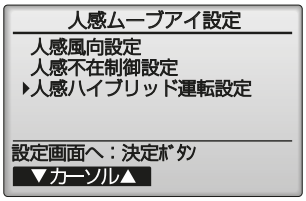
人感ハイブリッド運転が有効の場合、以下の運転をします。

- 冷房モードで室温が設定温度より低いとき
  送風運転を行いながら、上下ベーンをスイングします。風速は設定された風速です。
- 暖房モードで室温が設定温度より高いとき
  送風運転を行いながら、上下ベーンを水平吹きにします。風速は弱です。

※ 加湿器ありの設定の場合、暖房のハイブリッド運転を行いません。

※ 暖房時には、空気の流れを天井にはわせるようにするため、天井が汚れる可能性があります。

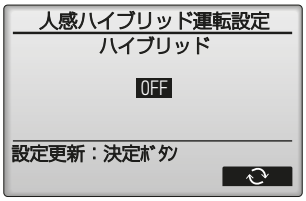
人感ムーブアイ設定



手順

1. F1 、F2 ボタンで人感ハイブリッド運転設定を選択し、決定 ボタンを押す。
2. F4 ボタンで OFF ／冷房／暖房／冷暖を設定し、決定 ボタンを押す。
   各設定は下記モードに対応します。
   OFF：人感ハイブリッド運転無効
   冷房：冷房時のみ人感ハイブリッド運転有効
   暖房：暖房時のみ人感ハイブリッド運転有効
   冷暖：冷房／暖房時に人感ハイブリッド運転有効

人感ハイブリッド運転設定



お知らせ

- 人感ハイブリッド運転は、風向自動モードに設定する必要があります。([2] 上下風向を変えたいとき (22 ページ) 参照)
- 次のような場合は、人感ムーブアイが人を検知しにくいときがあり、その際は人がいても人感ハイブリッド運転にならないことがあります。
  - 真夏など、室内の床・壁温度が高く、人体との温度差が小さい場合
  - 温度変化の大きい発熱体がある場合
  - 間に棚などの障害物がある場合
  - 厚着をして肌が表れていない場合
  - 検知範囲内にいない場合
- 人感ハイブリッド運転が有効の場合、2 つのベーンは同じ動作をします。
- 冷房で風当たりが気になる場合は、各吹出口ごとに以下のいずれかの設定をしてください。
  - 人感風向設定　快適自動モード (風よけ設定)
  - 上下風向角度の固定設定
    ※ 正しく動作しない場合は、室内ユニット制御基板の設定が必要となりますので、販売店または工事店に問い合わせてください。

4-2. その他の操作について

4-2-1. 長期間使用しないとき

[1] 運転停止の方法

手順

1. 4～5時間、送風運転して室内ユニット内部を乾燥させる。
2. 室内ユニットの電源を切る。
3. ワイヤレスリモコンの場合のみ、リモコンから乾電池を取り出す。

[2] 再度使い始めるとき

下記手順1～4の点検を行い、異常のないことを確認後、電源を入れてください。

- ユニットの電源を「入」にしてから12時間以上経過後、運転を開始してください。

手順

1. フィルタを清掃して、取り付ける。
   - フィルタの清掃は専門の業者に依頼してください。
2. 室内・室外ユニットの吹出口・吸込口が塞がれていないことを確認する。
3. アース線が外れていないことを確認する。

お願い

- 再度アース工事を行う場合は販売店(工事店・サービス店)に相談してください。

4. ドレンホースの折曲がり、先端の持上がり、詰まりなどがないことを確認する。
5. 運転開始の12時間以上前からユニットの電源を「入」にする。

5. お手入れ

⚠ 警告

殺虫剤・可燃性スプレーなどを製品の近くに置いたり、直接吹付けないこと。
- 変形・引火・火災・爆発のおそれあり。

使用禁止

運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れないこと。
- 冷媒は循環過程で低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。

接触禁止

運転中および運転停止直後の電気部品に素手で触れないこと。
- 火傷のおそれあり。

接触禁止

電気部品に水・液体・洗浄スプレー液をかけないこと。
- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

水ぬれ禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。
- 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

ぬれ手禁止

フィルター清浄・交換など、高所では足を踏み外さないように作業すること。
- 落下・転倒し、けがのおそれあり。

指示を実行

掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。
- けが・感電のおそれあり。
- ファン・回転機器により、けがのおそれあり。

指示を実行

薬品を散布する前に運転を停止し、ユニットにカバーを掛けること。
- 薬品がユニットにかかると、運転時にけがのおそれあり。
- 薬品がユニットにかかって損傷すると、けが・感電のおそれあり。

指示を実行

端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取り付けること。
- ほこり・水による感電・発煙・発火・火災のおそれあり。

指示を実行

⚠ 注意

フィルターを取り外す場合、保護具を身につけること。
- ほこりが目に入り、けがのおそれあり。

指示を実行

作業する場合は保護具を身に付けること。
- けがのおそれあり。

指示を実行

フィルターの点検・清掃は専門業者がすること。
- けがのおそれあり。

指示を実行

- お手入れの前には電源を「切」にしてから行ってください。

[1] 室内ユニット、リモコンの清掃

- やわらかい布でから拭きをしてください。
- リモコン線を引っ張ったり、ねじったりしないでください。

また、リモコンケースは取り外さないでください。

- 手あか、油類の場合は、家庭用の中性洗剤（食器用または洗濯用）を布などに少量ふくませて使用し、中性洗剤が残らないように拭き取ってください。
- ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・酸性／アルカリ性洗剤などは製品を傷めますので、絶対使用しないでください。

[2] フィルタの清掃

お願い

- フィルタを取り外した状態で運転をしないでください。内部にごみなどが詰まり、故障の原因となります。

(1) フィルタの清掃手順

手順

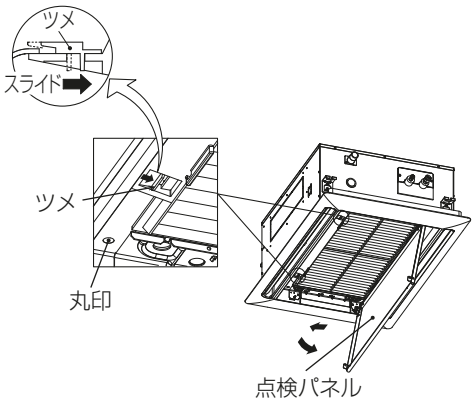
1. フィルタを取り外す。（40ページ参照）
2. フィルタのほこりを掃除機で吸い取るか、水洗いする。
   - 汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かした、ぬるま湯ですすいでください。
   - 熱い湯（約50℃以上）で洗わないでください。変形することがあります。
3. 水洗いしたあと、日陰でよく乾かす。
   - フィルタは直接日光や直接火にあてて乾かさないでください。
4. フィルタを元の状態に取り付ける。（取外しの逆の手順）

フィルタの取外しかた

PLFY-P22～140LMG形

手順

1. 点検パネルを上に押上げながら矢印の方向へスライドさせた後、引く。
   点検パネルが開きます。

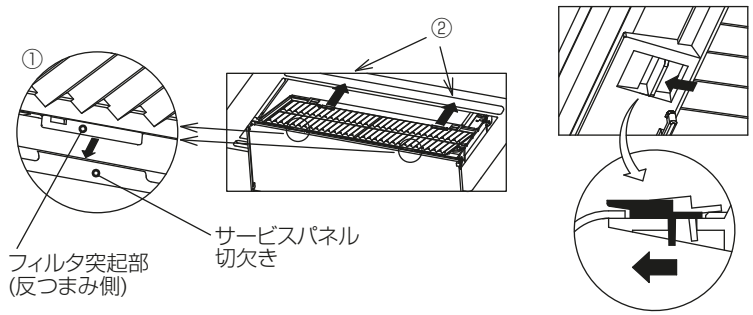


2. 右図のとおりツメを矢印の方向へスライドさせ、ツメを外す。

フィルタの取付けかた

手順

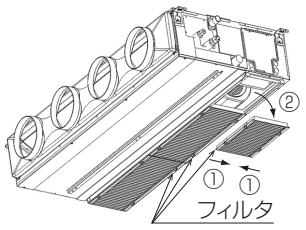
1. 突起部をサービスパネルの切欠きに押し当てる。
2. 1の状態でつまみ側を押し上げる。
3. つまみを矢印の方向へスライドさせ、フィルタを取り付ける。



PDFY-P22～140GMG形

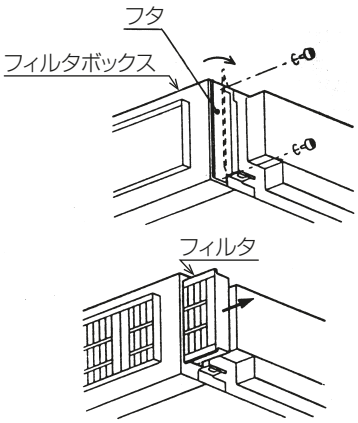
手順

1. フィルタのツマミを矢印①の方向に引く。
   フィルタが外れます。
2. フィルタを矢印②の方向に引き抜く。



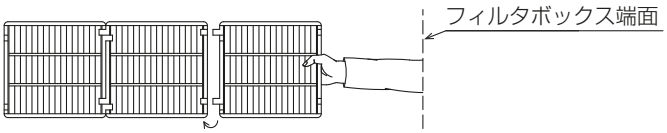
PEFY-P45～280MG形、PEFY-P224, 280SMG形

弊社別売フィルタを使用する場合は、別売フィルタの説明書を参照してください。



手順

1. フィルタボックスのフタを閉めているねじ（2本）を外す。
2. フィルタボックス開口部よりフィルタを矢印の方向に引き抜く。
   ※ P45～160形のロングライフフィルタについて
   引き抜き時にフィルタの間でツメの引っかけが外れた場合は、手前側のフィルタを持ち奥側のフィルタに引っかけて引きぬいてください。

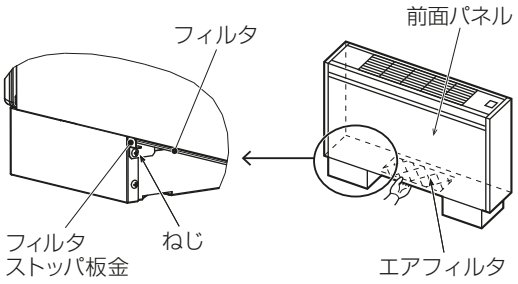


PFFY-P28～71LEMG形
PFFY-P28～71LRMG形

手順

1. 前パネル下部左側のねじ（1本）を緩め、前パネル下部（吸込口）からエアフィルタを引き抜く。
2. 清掃後、元の位置に戻す。
   エアフィルタの取付方向を確認してください。

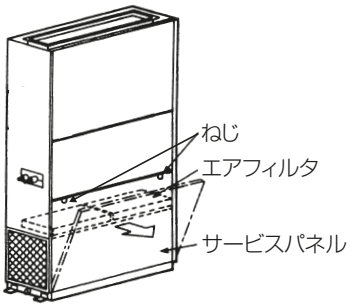
※ 右図はPFFY-P28～71LEMG形の場合を示しています。
PFFY-P28～71LRMG形の場合はフィルタストッパ板金、ねじはありません。



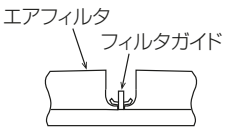
PFFY-P112～280RMG形

手順

1. 右図に示すねじ（2本）を取り外し、サービスパネルを取り外す。
   サービスパネルを取り外すと、エアフィルタ（2個）が見えます。
2. エアフィルタを前方に引き出す。



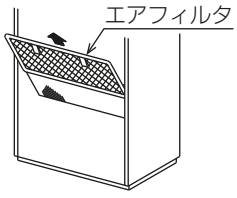
3. 清掃後、元に戻すときエアフィルタについている耳をフィルタガイドに挿入する。



PFFY-P224～560DMG形

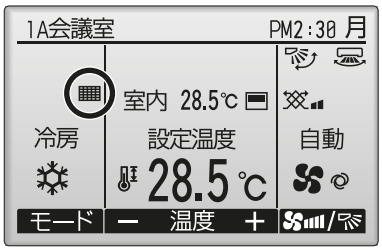
手順

1. 前下パネルのツマミねじ（2か所）を緩め、パネルを手前に引いて開ける。
2. 右図に従ってフィルタを取り外す。



(2) フィルタの清掃時期

ワイヤードリモコンの場合は ▦ 表示を点灯させて清掃時期をお知らせします。
(ワイヤレスリモコンの場合は表示されません。)



(単位：時間)

室内ユニット	運転時間
PLFY-P22～140LMG形	2500
PDFY-P22～140GMG形	2500
PEFY-P45～280MG形 ※1	2500
PEFY-P224, 280SMG形 ※1	2500
PFFY-P28～71LEMG形	100
PFFY-P28～71LRMG形	100
PFFY-P112～280RMG形	2500
PFFY-P224～560DMG形	1250

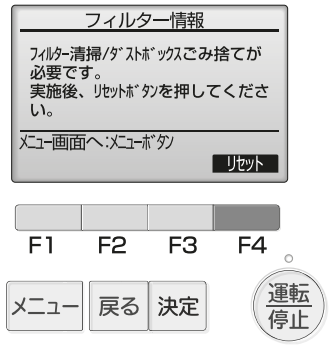
※1 ロングライフフィルタ (別売部品) 組込み時

[3] 表示をリセットする

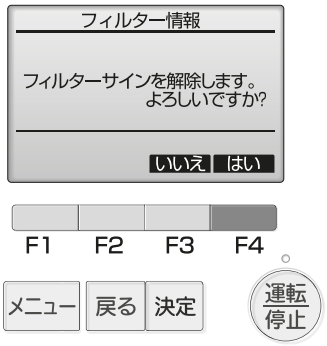
手順

1. 『フィルター情報』を表示する。

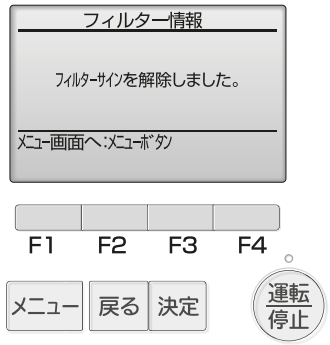
2. F4 ボタンを押す。



3. F4 ボタンを押す。



完了画面が表示されます。



お知らせ

- フィルタ清掃を行ってから表示を消してください。表示を消すとユニットの運転時間もリセットされます。
- 2台以上で形の異なる室内ユニットを操作する場合、接続された室内ユニットのうち1台でもフィルタ清掃時期がくれば“フィルター清掃”が表示されます。表示を消すとすべてのユニットの運転時間がリセットされます。
- 運転時間で表示される“フィルター清掃”表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を、目安時間で表示しているものです。環境の空気条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。

6. 定期点検のお願い

ユニットを数シーズン使用すると、内部が汚れて性能が低下します。臭いが発生したり、ごみやほこりなどによりドレンホースが詰り、吹出口からごみ、ほこりの飛散、室内ユニットから水漏れまたは、異常停止することがあります。通常のお手入れとは別に保守点検契約をおすすめします。
当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検をいたします。万一の故障時も早期に発見し、適切な処理を行います。
点検の依頼・相談は、「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別紙）に連絡してください。

JRA* GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

本製品を所有されているお客様に、製品の性能を維持していただくために、また、冷媒フロン類を適切に管理していただくために、定期的な冷媒漏えい点検（保守契約などによる、遠隔からの冷媒漏えいの確認などの、総合的なサービスも含む）（いずれも有料）をお願いいたします。
定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者によって「漏えい点検記録簿」へ、機器を設置したときから廃棄するときまでのすべての点検記録が記載されますので、お客様による記載内容の確認とその管理（管理委託を含む）をお願いいたします。
なお、詳細は下記のサイトを参照してください。*JRA: 一般社団法人 日本冷凍空調工業会

- JRA GL-14 について、https://www.jraia.or.jp/info/gl-14/index.html
- 冷媒フロン類取扱技術者制度について、http://www.jarac.or.jp/business/cfc_leak/

様式1　冷媒漏えい点検記録簿(汎用版)

年　月　日 ～　年　月　日

管理番号	

施設所有者				設備製造者			
施設名称		系統名		設置年月日			
施設所在地		電話		使用機器	型式		製品区分	
運転管理責任者		電話			製番		設置方式	現地施工
点検事業者 会社名		責任者			用途		検知装置	
点検事業者 所在地		電話						

使用冷媒		初期充てん量(kg)		点検周期	基準		実績(月)	

冷媒量(kg)	合計充てん量	合計回収量	合計排出量	排出係数(%)

作業年月日	点検理由	充てん量(kg)	回収量(kg)	監視・検知手段(最終)	センサー型式	センサー感度	資格者名	資格者登録No.	チェックリストNo.	確認者

7. 製品独自のお願い事項

7-1. 廃棄について

⚠ 警告

ユニットの廃棄は、専門業者に依頼すること。

- ユニット内に充てんした油や冷媒を取り除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発のおそれあり。

⚠ 注意

ユニット内の冷媒は回収すること。

- 冷媒は再利用するか、処理業者に依頼して廃棄すること。
- 大気に放出すると、環境破壊のおそれあり。

この製品はフロン排出抑制法・第一種特定製品です。

- フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要ですので、専門の回収業者に依頼してください。

7-2. 移設時の据付場所について

⚠ 警告

改造はしないこと。ユニットの移設・分解・修理は販売店または専門業者に依頼すること。

- 冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。

- 増改築・引越しのため、製品を取外し、再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が別途必要になります。事前に、お買い上げの販売店（工事店）、または指定のサービス店、またはメーカー指定のお客様相談窓口（別紙）に相談してください。
- 据付けや移設時に冷媒を追加充てんする場合は、指定冷媒以外のものを混入させないでください。
- ユニットの移設時は、販売店または専門業者に依頼し、据付場所は「据付工事説明書」に従って選定してください。

8. 据付工事の確認と試運転

- 本製品の据付工事は、販売店（工事店）が関連法規・資格に基づき実施しております。
- 販売店（工事店）が試運転を行う際、立ち会ってください。
- 運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、販売店（工事店）から説明を受けてください。
- 据付工事が完了後、次の事項をお客様自身でも確認してください。

内容	チェック欄
・「安全のために必ず守ること」について説明を受けましたか。	
・ 運転手順、安全を確保するための正しい使い方についての説明を受けましたか。	
・ 試運転に立ち会いましたか。	
・ 据付工事説明書の据付工事のチェックリストがチェックされていることを確認しましたか。	

9. 仕様

■ PLFY-P22～140LMG形

項目＼形名		PLFY-P22LMG形	PLFY-P28LMG形	PLFY-P36LMG形	PLFY-P45LMG形	PLFY-P56LMG形
電源		単相 200V　50/60Hz				
冷房能力	(kW)	2.2	2.8	3.6	4.5	5.6
暖房能力	(kW)	2.5	3.2	4.0	5.0	6.3
外形寸法	高さ (mm)	本体290／パネル20				
	幅 (mm)	本体770／パネル1080				本体940／パネル1250
	奥行 (mm)	本体650／パネル710				
風量 強-中1-中2-弱	(m³/min)	9.5-8.5-7.5-6.5		10.0-9.0-8.0-6.5	10.5-9.5-8.5-7.0	13.0-12.0-11.0-9.0
騒音値<PWL> (A特性) 強-中1-中2-弱	(dB)	53-52-51-49		53-52-51-50	56-55-54-51	57-56-55-53
製品質量 本体/パネル	(kg)	20/7		21/7		24/8

項目＼形名		PLFY-P71LMG形	PLFY-P80LMG形	PLFY-P90LMG形	PLFY-P112LMG形	PLFY-P140LMG形
電源		単相 200V　50/60Hz				
冷房能力	(kW)	7.1	8.0	9.0	11.2	14.0
暖房能力	(kW)	8.0	9.0	10.0	12.5	16.0
外形寸法	高さ (mm)	本体290／パネル20	本体331／パネル20			
	幅 (mm)	本体940／パネル1250	本体1440／パネル1750			
	奥行 (mm)	本体650／パネル710				
風量 強-中1-中2-弱	(m³/min)	16.5-15.0-12.5-10.5	19.0-16.5-15.0-13.5	22.5-20.0-18.0-15.5	26.0-23.5-20.0-18.0	31.5-28.5-26.5-23.0
騒音値<PWL> (A特性) 強-中1-中2-弱	(dB)	60-59-58-55	60-59-58-56	61-60-59-57	63-62-61-59	69-67-64-63
製品質量 本体/パネル	(kg)	26/8	41/11.5		45/11.5	47/11.5

■ PDFY-P22～140GMG形

項目＼形名		PDFY-P22GMG形	PDFY-P28GMG形	PDFY-P36GMG形	PDFY-P45GMG形	PDFY-P56GMG形
電源		単相　200V　50/60Hz				
冷房能力	(kW)	2.2	2.8	3.6	4.5	5.6
暖房能力	(kW)	2.5	3.2	4.0	5.0	6.3
外形寸法 高さ	(mm)	本体272／パネル55				
外形寸法 幅	(mm)	本体700／パネル1200			本体900／パネル1400	
外形寸法 奥行	(mm)	本体701／パネル600				
風量 強-中-弱	(m^3/min)	8.5-7.5-6.0		10.5-9.0-7.0	14.0-12.0-9.0	17.0-14.5-10.0
騒音値<PWL> 強-中-弱	(A特性) (dB)	57-55-51	57-56-51	61-58-53	59-56-53	62-60-54
製品質量 本体/パネル	(kg)	24／7			28／8	

項目＼形名		PDFY-P71GMG形	PDFY-P80GMG形	PDFY-P90GMG形	PDFY-P112GMG形	PDFY-P140GMG形
電源		単相　200V　50/60Hz				
冷房能力	(kW)	7.1	8.0	9.0	11.2	14.0
暖房能力	(kW)	8.0	9.0	10.0	12.5	16.0
外形寸法 高さ	(mm)	本体272／パネル55				
外形寸法 幅	(mm)	本体1100／パネル1600			本体1400／パネル1900	
外形寸法 奥行	(mm)	本体701／パネル600				
風量 強-中-弱	(m^3/min)	19.0-16.0-12.5	22.0-18.0-13.0		33.0-28.0-20.0	40.0-34.0-24.0
騒音値<PWL> 強-中-弱	(A特性) (dB)	63-60-56	64-61-57	64-61-58	67-63-59	70-67-62
製品質量 本体/パネル	(kg)	33／11			42／12	

・上記仕様は標準機外静圧30Pa時の値です。

■ PEFY-P45～280MG形(-F形以外)

項目＼形名		PEFY-P45MG形	PEFY-P56MG形	PEFY-P71MG形	PEFY-P80MG形	PEFY-P90MG形
電源		単相 200V　50/60Hz				
冷房能力	(kW)	4.5	5.6	7.1	8.0	9.0
暖房能力	(kW)	5.0	6.3	8.0	9.0	10.0
外形寸法 高さ	(mm)	380				
外形寸法 幅	(mm)	745			1030	
外形寸法 奥行	(mm)	900				
風量　強-弱	(m^3/min)	14-10		19-13.5	22-15.5	25-18
騒音値<PWL> 強-弱	(A特性) (dB)	57-51	57-52	61-56	61-56	63-58
製品質量	(kg)	39		40	51	

項目＼形名		PEFY-P112MG形	PEFY-P140MG形	PEFY-P160MG形	PEFY-P224MG形	PEFY-P280MG形
電源		単相 200V　50/60Hz			三相 200V　50／60Hz	
冷房能力	(kW)	11.2	14.0	16.0	22.4	28.0
暖房能力	(kW)	12.5	16.0	18.0	25.0	31.5
外形寸法	高さ (mm)	380			470	
	幅 (mm)	1195			1250	
	奥行 (mm)	900			1120	
風量　強-弱	(m^3/min)	38-26.5		40-28	58	72
騒音値<PWL>　強-弱	(A特性) (dB)	64-60	65-61	65-62	70	75
製品質量	(kg)	63		65	98	101

・上記仕様は、標準機外静圧 100Pa (PEFY-P224,280MG形は200Pa) 時の値です。

■ PEFY-P90～280MG形(-F形のみ)

項目＼形名		PEFY-P90MG形	PEFY-P112MG形	PEFY-P140MG形	PEFY-P160MG形	PEFY-P224MG形	PEFY-P280MG形
電源		単相200V 50/60Hz				三相200V 50/60Hz	
冷房能力	(kW)	9.0	11.2	14.0	16.0	22.4	28.0
暖房能力	(kW)	8.5	10.6	13.2	15.1	21.2	26.5
外形寸法	高さ (mm)	380				470	
	幅 (mm)	1000	1200			1250	
	奥行 (mm)	900				1120	
風量	(m^3/min)	9	14		18	28	35
騒音値<PWL>	(A特性) (dB)	58	60	61	62	67	71
製品質量	(kg)	52	68			92	97

・上記仕様は標準機外静圧 130Pa (PEFY-P224,280形は200Pa) 時の値です。

■ PEFY-P224,280SMG形

項目＼形名		PEFY-P224SMG形	PEFY-P280SMG形
電源		単相 200V　50/60Hz	
冷房能力	(kW)	22.4	28.0
暖房能力	(kW)	25.0	31.5
外形寸法	高さ (mm)	470	
	幅 (mm)	1250	
	奥行 (mm)	1120	
風量　強-中-弱	(m^3/min)	72-61-50	84-71-58
騒音値<PWL>　強-中-弱	(A特性) (dB)	67-66-65	71-70-70
製品質量	(kg)	97	100

・上記仕様は、標準機外静圧 150Pa時の値です。

■ PFFY-P28～71LEMG形

項目＼形名		PFFY-P28LEMG形	PFFY-P36LEMG形	PFFY-P45LEMG形	PFFY-P56LEMG形	PFFY-P71LEMG形
電源		単相 200V　50/60Hz				
冷房能力	(kW)	2.8	3.6	4.5	5.6	7.1
暖房能力	(kW)	3.2	4.0	5.0	6.3	8.0
外形寸法	高さ (mm)	630				
	幅 (mm)	1050	1170		1410	
	奥行 (mm)	220				
風量　強-弱	(m^3/min)	6.5-5.5	9.0-7.0	11.0-9.0	14.0-12.0	15.5-12.0
騒音値<PWL>　強-弱	(A特性) (dB)	54-49	55-50	58-52	59-55	62-57
製品質量	(kg)	29	31	32	36	37

■ PFFY-P28～71LRMG形

項目＼形名		PFFY-P28LRMG形	PFFY-P36LRMG形	PFFY-P45LRMG形	PFFY-P56LRMG形	PFFY-P71LRMG形
電源		単相 200V　50/60Hz				
冷房能力	(kW)	2.8	3.6	4.5	5.6	7.1
暖房能力	(kW)	3.2	4.0	5.0	6.3	8.0
外形寸法	高さ (mm)	639				
	幅 (mm)	878	998		1238	
	奥行 (mm)	220				
風量　強-弱	(m^3/min)	6.5-5.5	9.0-7.0	11.0-9.0	14.0-12.0	15.5-12.0
騒音値<PWL>　強-弱	(A特性) (dB)	54-49	55-50	58-52	59-55	62-57
製品質量	(kg)	22	23	25	29	30

■ PFFY-P112～280RMG形

項目＼形名		PFFY-P112RMG形	PFFY-P140RMG形	PFFY-P224RMG形	PFFY-P280RMG形	PFFY-P280RMG(-F)形
電源		三相 200V　50/60Hz				
冷房能力	(kW)	11.2	14.0	22.4	28.0	28.0
暖房能力	(kW)	12.5	16.0	25.0	31.5	26.5
外形寸法	高さ (mm)	1950				
	幅 (mm)	980		1200	1440	1640
	奥行 (mm)	500				
風量	(m^3/min)	32	40	64	80	32.7
騒音値<PWL>	(A特性) (dB)	66/67(50/60Hz)	68/69(50/60Hz)	72	77	72
製品質量	(kg)	136		165	184	172

■ PFFY-P224～560DMG形

項目＼形名		PFFY-P224DMG形	PFFY-P280DMG形	PFFY-P450DMG形	PFFY-P560DMG形
電源		三相 200V　50/60Hz			
冷房能力	(kW)	22.4	28.0	45.0	56.0
暖房能力	(kW)	25.0	31.5	50.0	63.0
外形寸法	高さ (mm)	1748		1899	
	幅 (mm)	980	1200	1200	1420
	奥行 (mm)	485		635	
風量	(m^3/min)	70	90	140	165
騒音値<PWL>	(A特性) (dB)	72	76	77/78 (50/60Hz)	78/81 (50/60Hz)
製品質量	(kg)	136	153	216	248

・上記仕様は、標準条件での値です。風量、機外静圧などを変更しますと、能力、騒音値も変化します。

10. 修理を依頼する前に

・ 以下のことをお調べになって、それでも不具合があるときはご使用を中止し、配線用遮断器（ブレーカー）を切（OFF）にしてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

現象	原因の確認	処置方法
よく冷えない。 よく暖まらない。	フィルタが汚れ、目詰まりして風量が低下している。	フィルタの清掃をしてください。
	設定温度が高くまたは低くなっている。	温度調節を確認して、設定温度を調節してください。
	室内ユニットの吹出口・吸込口が塞がれている。	室内ユニット周囲空間を広く開けてください。
	窓やドアが開いている。	窓やドアを閉めてください。
暖房運転にしたとき、すぐに風がでない。	暖かな風をおとどけするため準備中です。	そのまま待ってください。
暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。	外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かしています。	そのまま約10分ほど待ってください。
風向が途中で変わる、風向が設定できない。	暖房運転中、吹出し温度が低いとき、または霜取運転中は自動的に水平吹出しになります。	–
風向を変化させたときベーンが1往復以上しないと指定位置に停止しない。	風向変化時は、基準位置検知動作をしてから所定の角度にベーンが動きます。	–
水の流れるような音やときどき“プシュ”と音がする。	ユニット内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切り替わるときの音です。異常ではありません。	もし気になるような音の場合は、お買上げ販売店に相談してください。
“ピシッ、ピシッ”という音がする。	温度変化で部品などが膨張･収縮して、こすれる音です。異常ではありません。	もし気になるような音の場合は、お買上げ販売店に相談してください。
部屋がにおう。	室内ユニットが壁やじゅうたん、家具から発生するガス、または衣類などにしみ込んだにおいを吸い込んで、風を吹き出すためです。	–
室内ユニットより白い霧状の水蒸気が出る。	室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。異常ではありません。	–
	霜取運転時、冷気が下りてきて霧状に見えることがあります。	–
室外ユニットより水・水蒸気が出る。	冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき滴下するためです。	–
	暖房時に熱交換器についた水が滴下するためです。	–
	霜取時に熱交換器についた水が蒸発し、水蒸気が出ることがあります。	–
リモコンの運転表示が点灯しない。	室内ユニットの配線用遮断器（ブレーカ）が切（OFF）になっています。	配線用遮断器（ブレーカ）を入（ON）にしてください。
[運転・停止]ボタンを押したのに運転しない。 点灯したリモコンの運転表示が消える。	室内ユニットの配線用遮断器（ブレーカ）が切（OFF）になっています。	配線用遮断器（ブレーカ）を入（ON）にしてください。
リモコン表示部に“集中管理中”の表示が出ている。	“集中管理中”の表示が点灯中はリモコンでの運転・停止が禁止となっています。	–
再運転のために停止後すぐに**[運転・停止]**ボタンを押したが、すぐに運転を再開しない。	ユニットを保護するため、マイコンの指示で止まっています。	再運転をした場合は、運転するまで約3分間待ってください。
[運転・停止]ボタンを押さないのに、勝手に動き出した。	入タイマー運転をしている。	**[運転・停止]**ボタンを押して停止してください。
	遠方コントロールが接続されている。	運転を指示したところへ連絡・確認してください。
	“集中管理中”の表示が点灯している。	運転を指示したところへ連絡・確認してください。
	停電自動復帰が設定されている。	**[運転・停止]**ボタンを押して停止してください。
[運転・停止]ボタンを押さないのに、勝手に停止した。	切タイマー運転をしている。	**[運転・停止]**ボタンを押して運転を再開してください。
	遠方コントロールが接続されている。	停止を指示したところへ連絡・確認してください。
	“集中管理中”の表示が点灯している。	停止を指示したところへ連絡・確認してください。

現象	原因の確認	処置方法
リモコンのタイマー運転がセットできない。	タイマー設定が無効となっている。 タイマー設定がセット可能なときは、**簡易タイマー**、**消忘タイマー**のどちらかが表示されています。	−
リモコンに “PLEASE WAIT” の表示が出る。	初期設定（約３分）を行っています。	そのまま待ってください。
リモコンにエラーコードが表示される。	保護機能が作動してユニットを保護しています。	自分では絶対に修理しないでください。 ユニットの電源を切り、お買上げ販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。
排水音やモータの回転音がする。	冷房運転停止時に、停止後３分間ドレンアップメカを運転してから停止します。	３分間待ってください。
	運転を停止中でも他の室内ユニットが冷房運転している場合や、加湿器を使用している場合、ドレン水が発生します。ドレン水が溜まるとドレンアップメカを運転し、排水を行います。	−
ワイヤレスリモコンの表示がでない、薄い、受光部に近付けないと受信しない。	乾電池が消耗しています。	乾電池を交換し、**[リセット]** ボタンを押してください。 新しい乾電池でも表示の出ない場合は、乾電池の入れ方（＋、−）を再度確認してください。
ワイヤレスリモコン受光部の運転表示灯が点滅する。	自己診断機能が作動してユニットを保護しています。	自分では絶対に修理しないでください。 ユニットの電源を切り、お買上げ販売店に製品名を連絡してください。
暖房サーモOFF時および送風運転時に断続的に温風が出る。	他の室内ユニットが暖房運転をしている場合、システムの安定性を保つために、制御弁をときどき開閉します。	そのまま待ってください。 しばらくすると止まります。

11. 法令関連の表示

11-1. 標準的な使用条件

- 使用温度の範囲から外れたところで使用しますと、ユニットが異常停止したり、重大な事故の原因となります。

		室内	天井内※1	室外
冷房・ドライ	乾球温度	―	～30℃	-5℃～43℃
	湿球温度	15℃～24℃	～80%（相対湿度）	―
暖房	乾球温度	15℃～28℃	―	―
	湿球温度	―	―	-20℃～15.5℃
自動	乾球温度	冷房・ドライ / 暖房と同じ		-5℃～20℃
	湿球温度			-5℃～15.5℃
送風・換気	乾球温度	―	―	―

※1　床置形などの露出タイプは除く。

- 室内外共に使用可能な湿度の目安は、相対湿度30～80%です。
- 室外ユニットの使用温度範囲は室外ユニットにより上表と異なることがあります。各室外ユニットの使用温度範囲はカタログ・仕様書などで確認してください。
- 自動運転の運転可能範囲外のサーモON時、送風運転になる場合があります。

以下のような場合には経年劣化を促進させ、設計標準使用期間よりも早期に運転上支障を生じるおそれがあります。

- 製品の使用条件または使用頻度に係る実際の数値が算定の根拠となった数値よりも高い場合
- 目的外の用途に使用された場合
- 標準的な使用環境と異なる環境で使用された場合

形名末尾に「-F」がつく機種を接続した場合、室内外ユニットの使用温度範囲は、以下記載のとおりです。
ご使用になっている製品の形名と、使用範囲を確認してください。

		外気温度
冷房	乾球温度	21℃～43℃
	湿球温度	15.5℃～35℃
暖房	乾球温度	－10℃～20℃
	湿球温度	―
室内外共使用可能な湿度目安としては、相対湿度30～80%の範囲内で使用してください。		

※ 外気温度が、冷房時21℃（乾球温度）以下、暖房時20℃（乾球温度）以上で強制サーモOFF（送風状態）になります。

※ 加湿器組込み時で、外気温度5℃（乾球温度）以下の場合には、加湿器凍結防止のため、強制的に暖房運転をすることがあります。

11-2. 機器予防保全の目安

保証期間を示しているものではありません。

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1年	20,000時間
モータ（ファン、ルーバ、ドレンポンプ用など）		20,000時間
ベアリング		15,000時間
電子基板類		25,000時間
熱交換器		5年
膨張弁		20,000時間
バルブ（電磁弁、四方弁など）		20,000時間
センサ（サーミスタ、圧力センサなど）		5年
ドレンパン		8年

- 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
- この保全周期は、製品を長く安心して使用するために、保全行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のために役立ててください。また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。
- 保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時に確認してください。

上表は次の使用条件が前提となります。

- 頻繁な発停のない、通常の使用状態であること。
  （機種によりことなりますが、通常の使用における発停の回数は、6回／時間以下を目安としています。）
- 製品の運転時間は、10時間／日、2500時間／年と仮定しています。（氷蓄熱など夜間に運転するものはこれより長くなる場合があります。）

また、下記の項目に適合するときには、「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。

- 温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所で使用する場合。
- 電源変動（電圧、周波数、波形歪みなど）が大きい場所で使用する場合（許容範囲外での使用はできません。）
- 振動、衝撃が多い場所に設置して、使用する場合。
- 塵埃、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス･オイルミストなど良くない雰囲気で使用する場合。
- 頻繁な発停のある場所、運転時間の長い場所。（24時間空調など）

11-3. 消耗部品の点検周期目安

保証期間を示しているものではありません。

主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルタ、清潔Ｖフィルタ	1年	5年
高性能フィルタ		1年
ファンベルト		5,000時間
平滑コンデンサ		10年
ヒューズ		10年
加湿エレメント（自然蒸発式）		3年
クランクケースヒータ		8年
ドレンパン抗菌剤		3年

- 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
- この交換周期は、製品を長く安心して使用するために、交換行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）のために役立ててください。
- 加湿エレメントは交換が必要な消耗部品です。表は供給水質が市水・上水で硬度70以下の場合の、交換の目安を示します。供給水中の硬度、イオン状シリカ、酸消費量が多い場合、加湿エレメントの劣化が早まります。劣化すると加湿能力の低下、変色、白粉発生などがあらわれることがあります。
- 保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時に確認してください。

12. 保証とアフターサービス

■ 保証書(別添)

- 保証書は室外ユニットに添付しています。室外ユニットの保証書でセットでお買い上げになった室内ユニット･室外ユニット･リモコンを保証します。
- 保証書は、必ず「お買上げ日(据付日または試運転完了日)・販売店名(工事店名)」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
  保証書は内容をよくお読みになったあと、大切に保管してください。

保証期間

お買上げ日(据付日または試運転完了日)から1年間です

- 保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 製品の故障もしくは不具合より発生した、冷却温度上昇による健康障害や食品劣化、水漏れなどによる家財破損などの付随的損害の責については、ご容赦ください。

■ 補修用性能部品の保有期間

- 当社は、このパッケージエアコンの補修用性能部品を製造打切り後9年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店(販売店･工事店)か「三菱電機 修理窓口･ご相談窓口」(別紙)にご相談ください。(所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。)

■ 修理を依頼されるときは(出張修理)

● 「修理を依頼する前に」(52ページ)にしたがってお調べください。
- なお、不具合があるときは、ご使用を中止し必ず配線用遮断器(ブレーカー)を切(OFF)にしてから、お買上げの販売店(工事店・サービス店)にご連絡ください。

● 保証期間中は
保証書の規定にしたがって、販売店(工事店・サービス店)が修理させていただきます。
修理に際しましては、保証書をご提示ください。
なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。

● 保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。料金などについては販売店にご相談ください。点検・診断のみでも有料になることがあります。ただし、補修用性能部品の保有期間が過ぎている場合は、修理できないことがあります。

● 修理料金は
技術料＋部品代＋出張料などで構成されています。
機器の接続・機器の調整・取り扱い方法の説明なども修理料金に含まれます。
- 技術料…製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。
- 部品代…修理に使用した部品代金です。
- 出張料…製品のある場所へ技術員を派遣する費用(出張料)や有料駐車場の費用(駐車料)を別途いただく場合があります。

● ご連絡いただきたい内容
1. 品　　名　三菱パッケージエアコン
2. 形　　名　室外ユニットは、保証書に記入してあります。
   室内ユニットは、室内製品銘板に記入してあります。
3. お買上げ日　　年　　月　　日
4. 故障の状況　(できるだけ具体的に、リモコンのエラー表示番号なども)
5. ご　住　所　(付近の目印なども)
6. お名前・電話番号・訪問希望日

■ この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

●お問合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問合わせ(ご依頼)いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合わせ(ご依頼)内容に記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了承をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
   ① 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
   ② 法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

WT09959X01

13. 環境関連の表示

[1] 再資源化について

このユニットは、ご使用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
このユニットは、ご使用終了時に再資源化の一助として製品本体を材質別に容易に分解できる構造になっています。

[2] フロン排出抑制法

ユニットを廃棄されるときは、フロン排出抑制法で冷媒の回収が定められています。お買い上げの販売店(工事店)、またはメーカー指定のサービス店、もしくはお客様相談窓口に相談してください。

この製品はフロン排出抑制法・第一種特定製品です。

室内ユニットおよび室外ユニットに表示されている左記のシンボルマークは、パッケージエアコンに温暖化ガス(フロン類)が封入されていることを確認していただくための表示です。

この製品はフロン排出抑制法の第一種特定製品です。廃棄･整備するときは、都道府県に登録された第一種フロン類回収業者にフロン類の回収を依頼してください。

室内ユニットにはフロン類の種類・GWP(地球温暖化係数)が表示されています。システム全体のフロン類の数量は室外ユニットに表示されています。

- フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。
- 冷媒の種類および数量並びにGWP(地球温暖化係数)は、室外ユニットに記載されています。
- 冷媒を追加充てんした場合やサービスで冷媒を入れ換えた場合には室外ユニットの<冷媒量記入のお願い>の記入欄に必要事項を記入してください。

MEMO

愛情点検

●長年ご使用のパッケージエアコンの点検を！

こんな症状はありませんか	ご使用中止
●運転音が異常に大きくなる。 ●室内ユニットから水がもれる。 ●電源が頻繁に落ちる。 ●その他の異常･故障がある。	事故防止のため、配線用遮断器（ブレーカー）を切（OFF）にし、販売店に点検･修理をご相談ください。

便利メモ	お買上げ販売店名
	電話番号

ご不明な点がございましたらお客様相談窓口（別紙）にお問い合わせください。

三菱電機冷熱相談センター

0037-80-2224(フリーボイス)/073-427-2224(携帯電話対応)

FAX(365日・24時間受付)
0037(80)2229(フリーボイス)･073(428)-2229(通常FAX)

三菱電機株式会社

本社　〒100-8310　東京都千代田区丸の内2-7-3（東京ビル）
冷熱システム製作所　〒640-8686　和歌山市手平6-5-66

2022年7月作成

WT09959X01